

令和5年度
横浜市民の人生の最終段階の医療等に関する意識調査
報告書

令和5年8月

横浜市医療局

目次

調査概要	2
1. 調査の目的	2
2. 調査の概要	2
3. 集計・分析結果を読む際の注意点	2
I 回答者の属性	4
1. 年齢	4
2. 性別	5
3. 居住区	6
4. 同居人	8
(1)同居人の有無	8
(2)同居人との関係	8
5. 医療・介護従事者	9
6. 介護経験	9
II 調査結果	10
1. 「人生会議」について	10
(1)人生会議の認知度	10
(2)人生の最終段階の医療・ケアについて考えたことがあるか	13
(3)人生の最終段階の医療・ケアについて話し合ったことがあるか	15
(2)「もしも手帳」の所持率	27
(3)「もしも手帳」への記入率	30
3. 横浜市「人生会議」短編ドラマについて	33
(1)「横浜市『人生会議』短編ドラマ」の認知度	33
(2)「横浜市『人生会議』短編ドラマ」の視聴率	36
4. その他	38
(1) 人生会議に行うために必要なもの	38
(2) 医療・介護の情報の入手先	39
(3) 「人生会議」「もしも手帳」に関するご意見	40
調査票	41

調査概要

1. 調査の目的

横浜市では、人生の最終段階をどう過ごしたかを元気なうちから考え、希望する医療・ケアについて大切な人と話し合う、人生会議（アドバンス・ケア・プランニング：略称ACP）の啓発を行っている。市民が人生の最終段階の医療等について、どのように情報を得て、どのように話し合っているのか等を把握し、今後の施策に役立てていくことを目的として、本調査を行った。

2. 調査の概要

- (1) 調査対象：18歳以上の横浜市民 3,000人（外国籍含む）
- (2) 調査期間：令和5年6月1日（木）～6月30日（金）
- (3) 調査方法：郵送・インターネット回答併用方式
（調査票を郵送、回答は郵送又はインターネット）
- (4) 回収数：1,198票（回収率 39.9%）（郵送 815票 インターネット 383票）
- (5) 有効回答数：1,198票（有効回答率 39.9%）（外国籍 10票含む）

3. 集計・分析結果を読む際の注意点

(1) 集計結果の見方

- ① 図（グラフ）の中で使用されているnは、その設問に対する回答数を表す。
- ② 回答の比率（すべて百分率（%）で表示）は、その設問の回答数を基数（件数）として算出している。したがって、複数回答の設問の場合、すべての比率を合計すると100%を超える場合がある。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

(2) クロス集計表の見方

橙色の塗りつぶし：選択肢の中で、第1位の項目については橙色で塗りつぶしている。

強調数字：属性別にみて、市全体の数値と比べてかなり高い（概ね10ポイント以上）数値の項目については数値を強調して表示している。

(3) 厚生労働省調査との比較

本文中の厚生労働省調査とは、厚生労働省が行った「令和4年度人生の最終段階における医療・ケアに関する意識調査」を示す。調査結果のグラフは厚生労働省「令和4年度人生の最終段階における医療・ケアに関する意識調査の結果について（報告）」より抜粋。

(4) 用語解説

① 人生会議（アドバンス・ケア・プランニング 略称：ACP）

もしものとき※に、どのような医療やケアを望むのか、前もって考え、家族や信頼する人、医療・介護従事者たちと繰り返し話し合い、共有すること。

※もしものとき：回復の見込みのないけがや病気のため、死が避けられない状態となったとき

② もしも手帳

簡単な3つの質問に答えることで、もしものときに、どのような医療やケアを望んでいるかを前もって話し合い、思いを伝えるための手帳で、横浜市が作成。

③ 横浜市「人生会議」短編ドラマ

高島礼子さん主演の壮年期編と、竹中直人さん主演の高齢期編の2作品がある。「人生会議」や「もしも手帳」について理解を深めることを目的に、横浜市が作成した短編ドラマ。

④ 名刺型サイズの PR カード

「横浜市『人生会議』短編ドラマ」の紹介と QR コードが掲載された名刺サイズのカード。

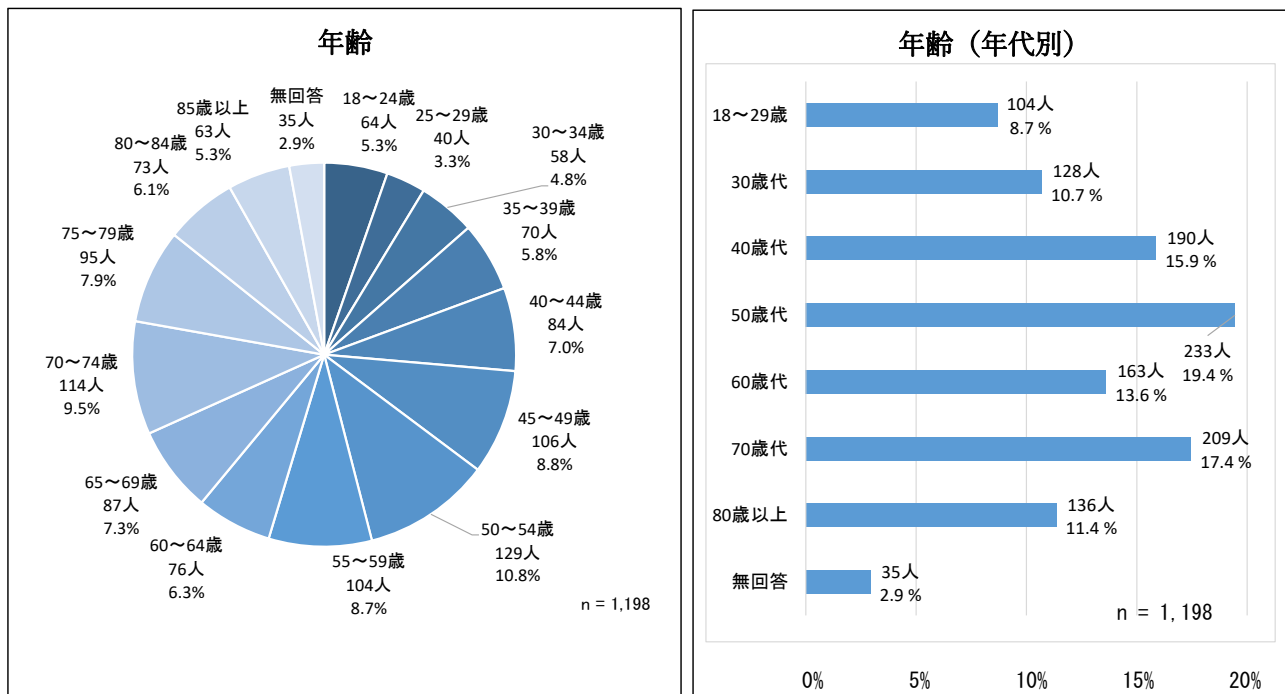
⑤ 在宅医療連携拠点（在宅医療相談室）

横浜市全区に設置しており、在宅医療や介護に関する相談支援や、在宅医療・介護に関わる多職種の連携体制の構築等を行っている。

I 回答者の属性

1. 年齢

「50～54 歳」(10.8%) が最も多く、「25～29 歳」(3.3%) が最も少ない。



<年代別>

- ・横浜市の人口（住民基本台帳に記載された人口令和5年3月末現在、18歳未満を除く）における構成と比較すると、18～29歳は横浜市の人口構成比よりも6.3%少なく、70～79歳が4.9%多い。

年代別構成(横浜市人口との比較)

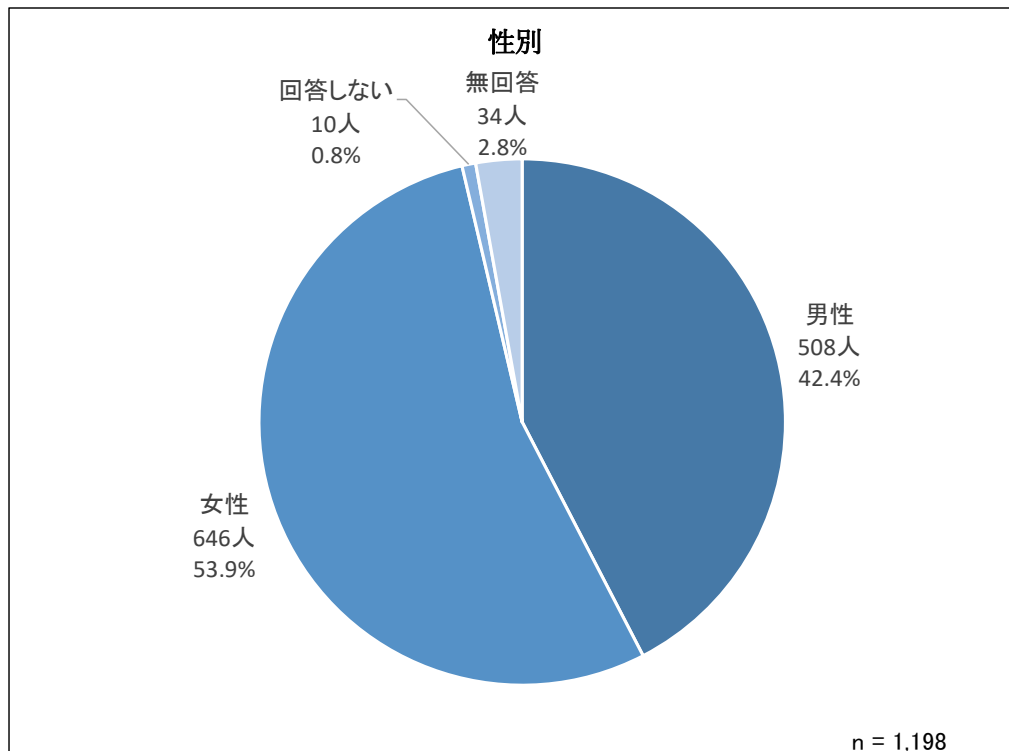
年代	アンケート回答数 * 1	横浜市人口 (18歳以上) R5年3月末* 2	アンケート回答数 構成比	横浜市人口 (18歳以上) 構成比
18～29歳	104人	490,565人	8.9%	15.2%
30歳代	128人	431,141人	11.0%	13.4%
40歳代	190人	545,488人	16.3%	16.9%
50歳代	233人	602,103人	20.0%	18.7%
60歳代	163人	407,897人	14.0%	12.7%
70歳代	209人	422,698人	18.0%	13.1%
80歳以上	136人	323,068人	11.7%	10.0%
全体	1,163人	3,222,960人	100.0%	100.0%

*1 無回答を除く

*2 横浜市ポータルサイト（住民基本台帳データ）

2. 性別

「男性」が42.4%、「女性」が53.9%であり、「女性」の方が多い。



<性別>

- ・横浜市人口（住民基本台帳に記載された人口令和5年3月末現在、18歳未満を除く）における構成と比較すると、男性は横浜市人口構成比よりも5.2%少なく、女性は5.2%多い。

性別構成(横浜市人口との比較)

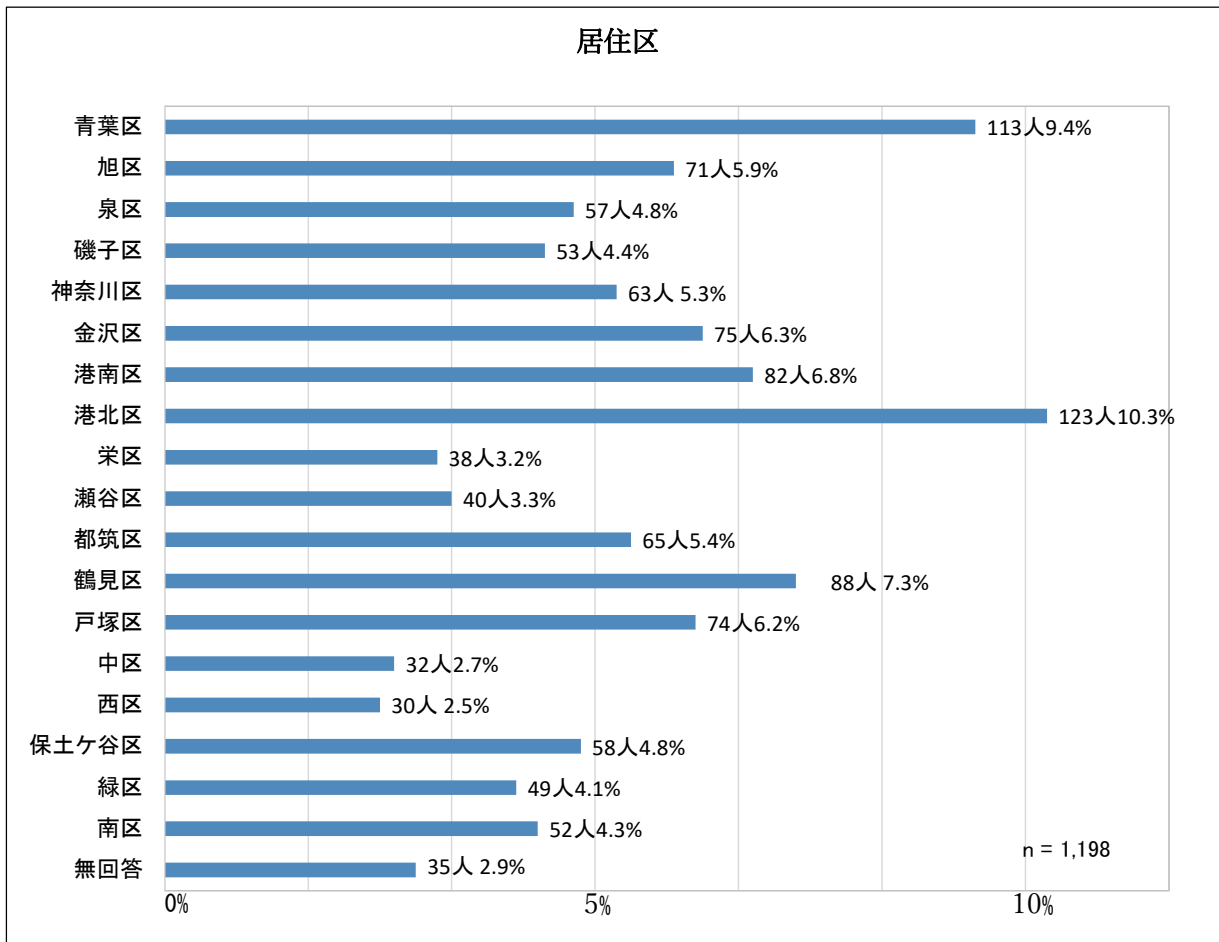
性別	アンケート回答数 * 1	横浜市人口 (18歳以上) R5年3月末* 2	アンケート回答数 構成比	横浜市人口 (18歳以上) 構成比
男性	507人	1,586,791人	44.0%	49.2%
女性	645人	1,636,169人	56.0%	50.8%
合計	1,152人	3,222,960人	100.0%	100.0%

* 1 無回答を除く

* 2 横浜市ポータルサイト（住民基本台帳データ）

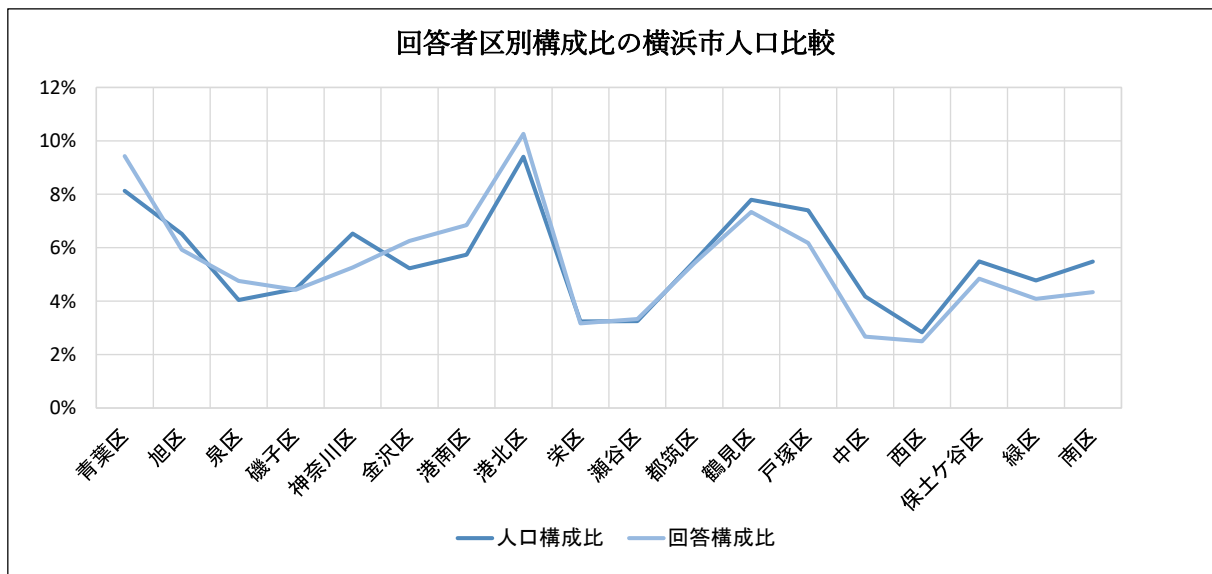
3. 居住区

「港北区」(10.3%) が最も多く、次いで「青葉区」(9.3%)、「鶴見区」(7.3%)、「港南区」(6.8%)の順である。最も少ないのは「西区」(2.6%) である。



<居住区別>

- ・横浜市の人口（住民基本台帳に記載された人口令和5年3月末現在、18歳未満を除く）における区別の構成と比較すると、概ね区別人口構成比に近いと言える。



居住区別構成(横浜市人口との比較)

性別	アンケート回答数 * 1	横浜市人口 (18歳以上) R5年3月末* 2	アンケート回答数 構成比	横浜市人口 (18歳以上) 構成比
青葉区	113人	261,917人	9.4%	8.1%
旭区	71人	209,931人	5.9%	6.5%
泉区	57人	130,344人	4.8%	4.0%
磯子区	53人	143,641人	4.4%	4.5%
神奈川区	63人	210,624人	5.3%	6.5%
金沢区	75人	168,619人	6.3%	5.2%
港南区	82人	185,052人	6.8%	5.7%
港北区	123人	303,075人	10.3%	9.4%
栄区	38人	104,550人	3.2%	3.2%
瀬谷区	40人	104,978人	3.3%	3.3%
都筑区	65人	177,041人	5.4%	5.5%
鶴見区	88人	251,251人	7.3%	7.8%
戸塚区	74人	238,495人	6.2%	7.4%
中区	32人	134,741人	2.7%	4.2%
西区	30人	91,431人	2.5%	2.8%
保土ヶ谷区	58人	176,776人	4.8%	5.5%
緑区	49人	153,955人	4.1%	4.8%
南区	52人	176,539人	4.3%	5.5%
合計	1,163人	3,222,960人	100%	100%

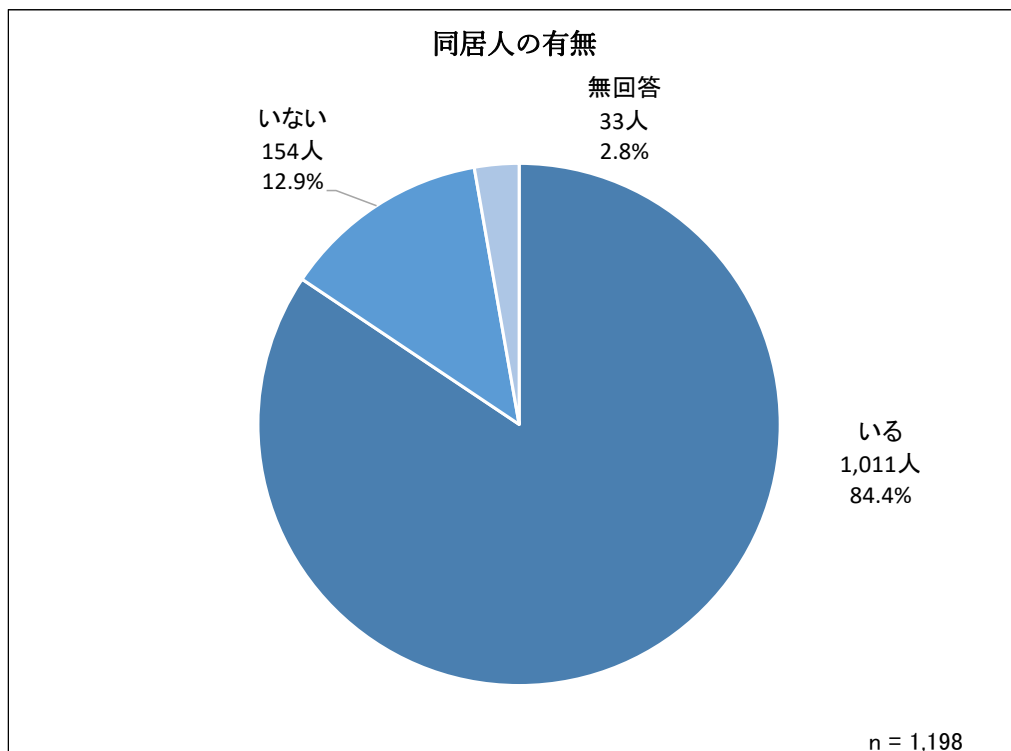
*1 無回答を除く

*2 横浜市ポータルサイト（住民基本台帳データ）

4. 同居人

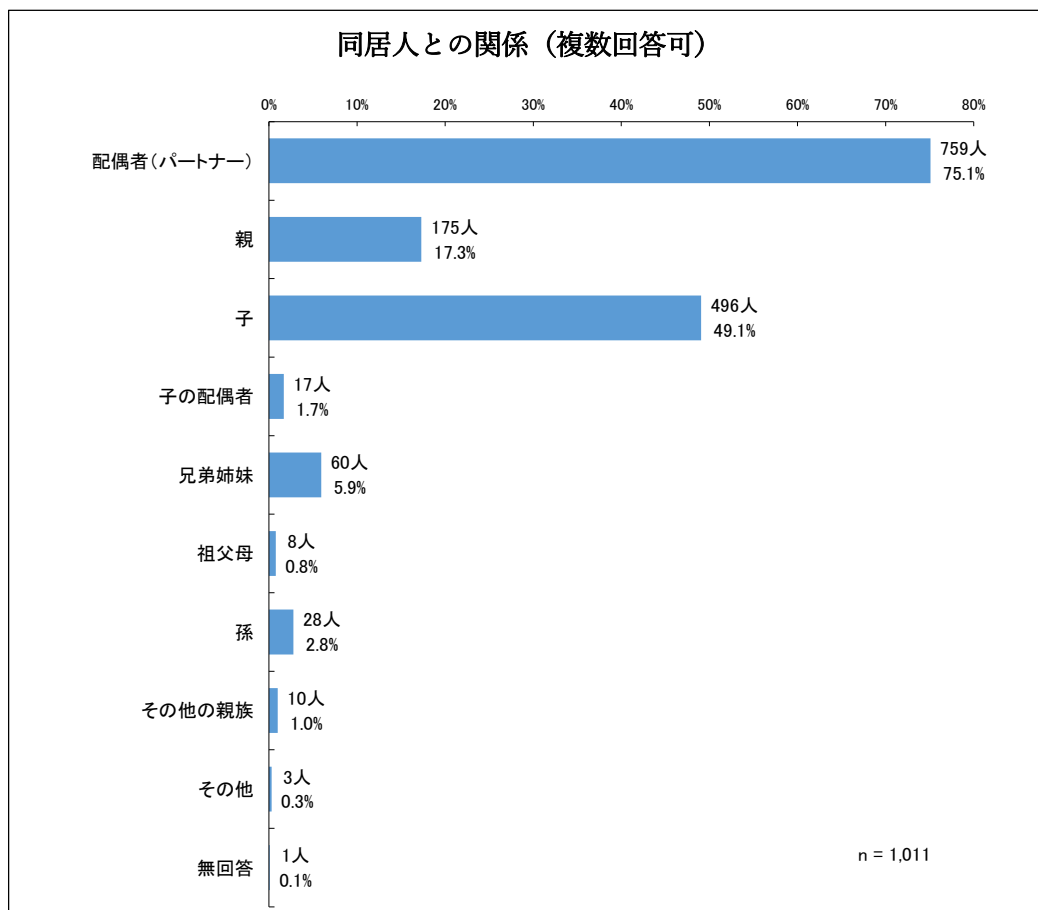
(1)同居人の有無

同居人はおよそ8割がいると回答している。



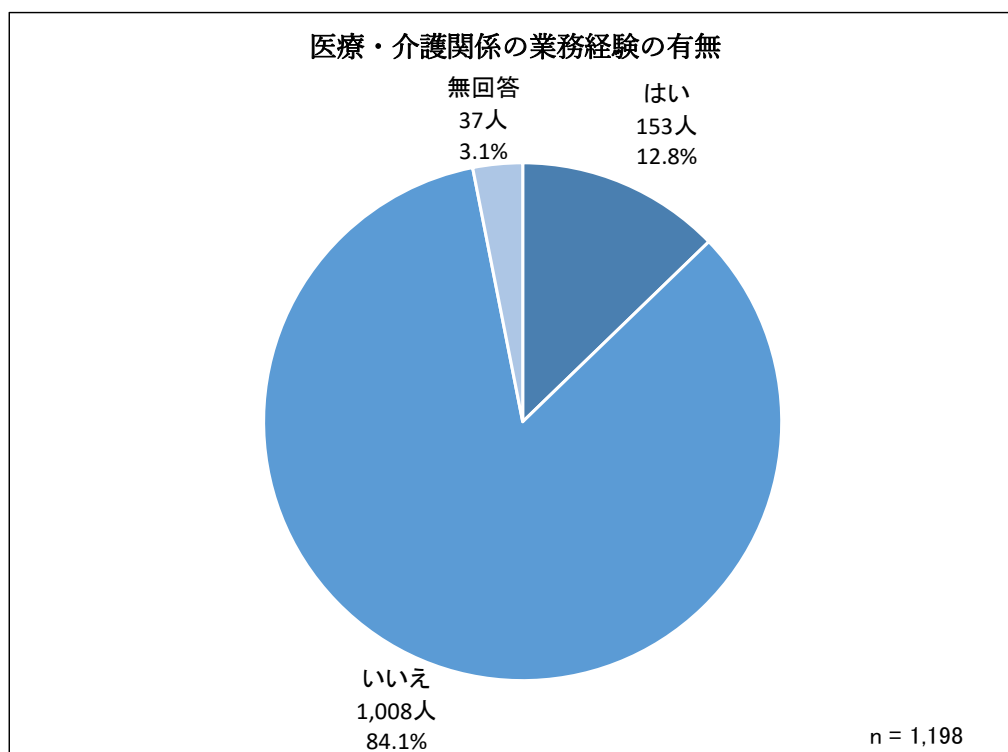
(2)同居人との関係

同居人との関係については、「配偶者(パートナー)」(75.1%)が最も多く、次いで「子」(49.1%)、「親」(17.3%)の順である。



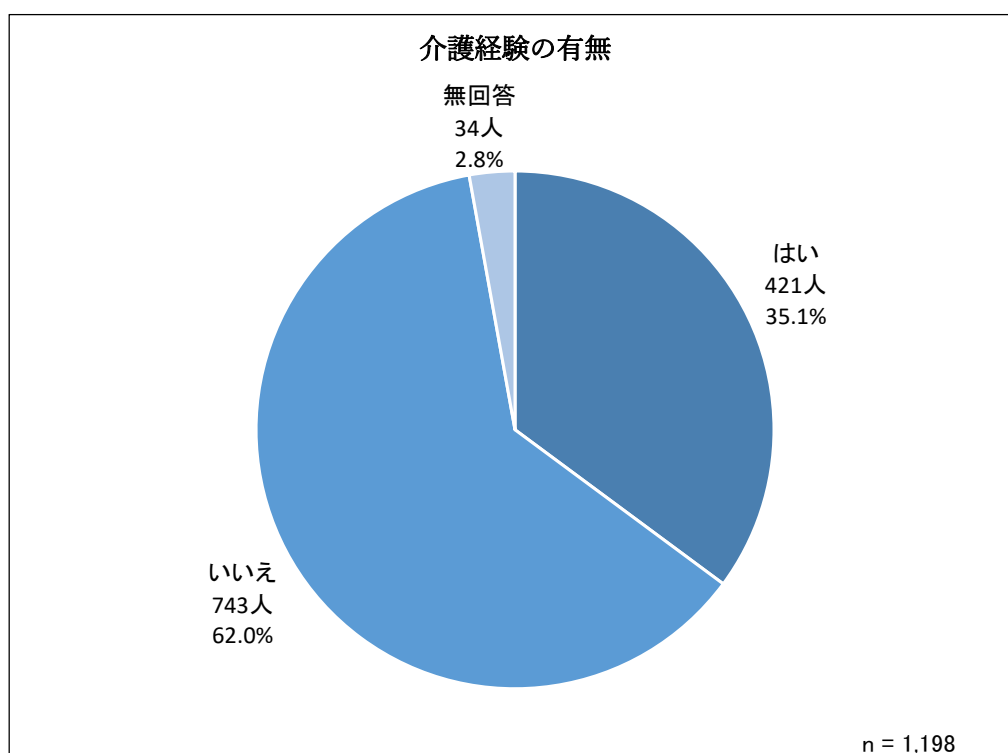
5. 医療・介護従事者

回答者のうち、およそ1割が医療・介護関係の業務経験がある。



6. 介護経験

回答者のうち、およそ3割が介護の経験がある。



Ⅱ 調査結果

1. 「人生会議」について

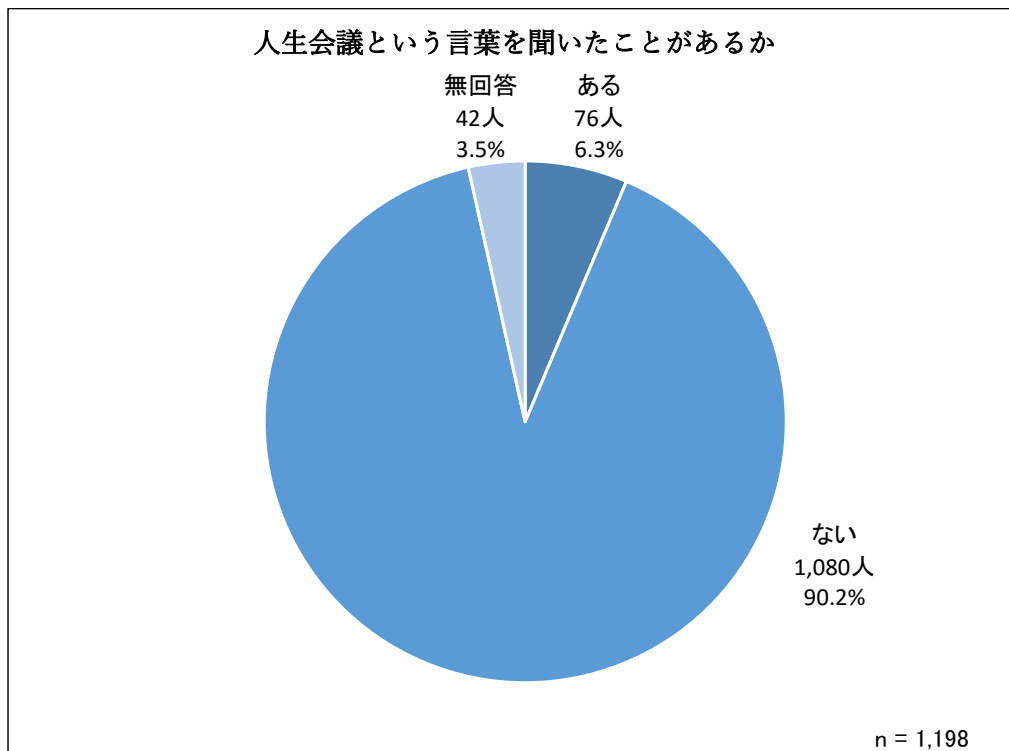
(1) 人生会議の認知度

人生会議の認知度は6.3%。

人生会議という言葉聞いたきっかけは、「テレビ」(32.9%)が最も多く、次いで「病院・診療所」(25.0%)、「広報よこはま」(21.1%)の順である。

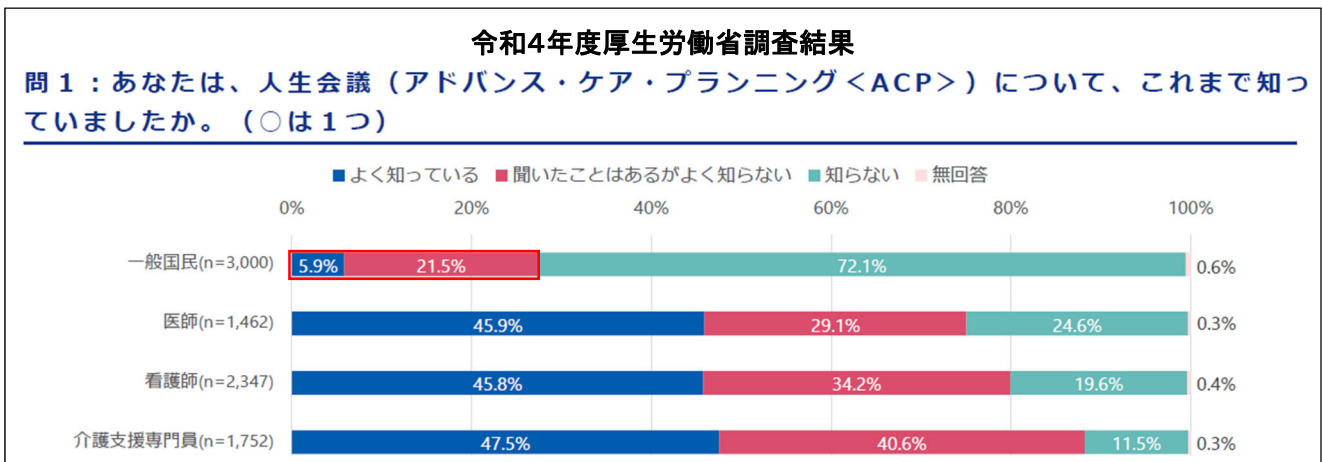
問1 人生会議という言葉聞いたことはありますか。

- ・人生会議という言葉聞いたことがある人は、6.3%。



【厚生労働省調査との比較】

- ・一般国民の人生会議の認知度は、「よく知っている」「聞いたことがあるがよく知らない」を合わせ27.4%。一般国民の認知度と比較して、横浜市民の人生会議の認知度(6.3%)は低い。



<年代別>

・「50歳代」(8.6%)が最も多く、次いで「30歳代」(7.8%)、「60歳代」(7.4%)の順である。最も低いのは、「80歳代」(4.4%)である。

<医療・介護従事者別>

・医療・介護関係の業務経験がある人は、人生会議という言葉聞いたことが「ある」が13.1%であり、経験がない人(5.4%)より高い。

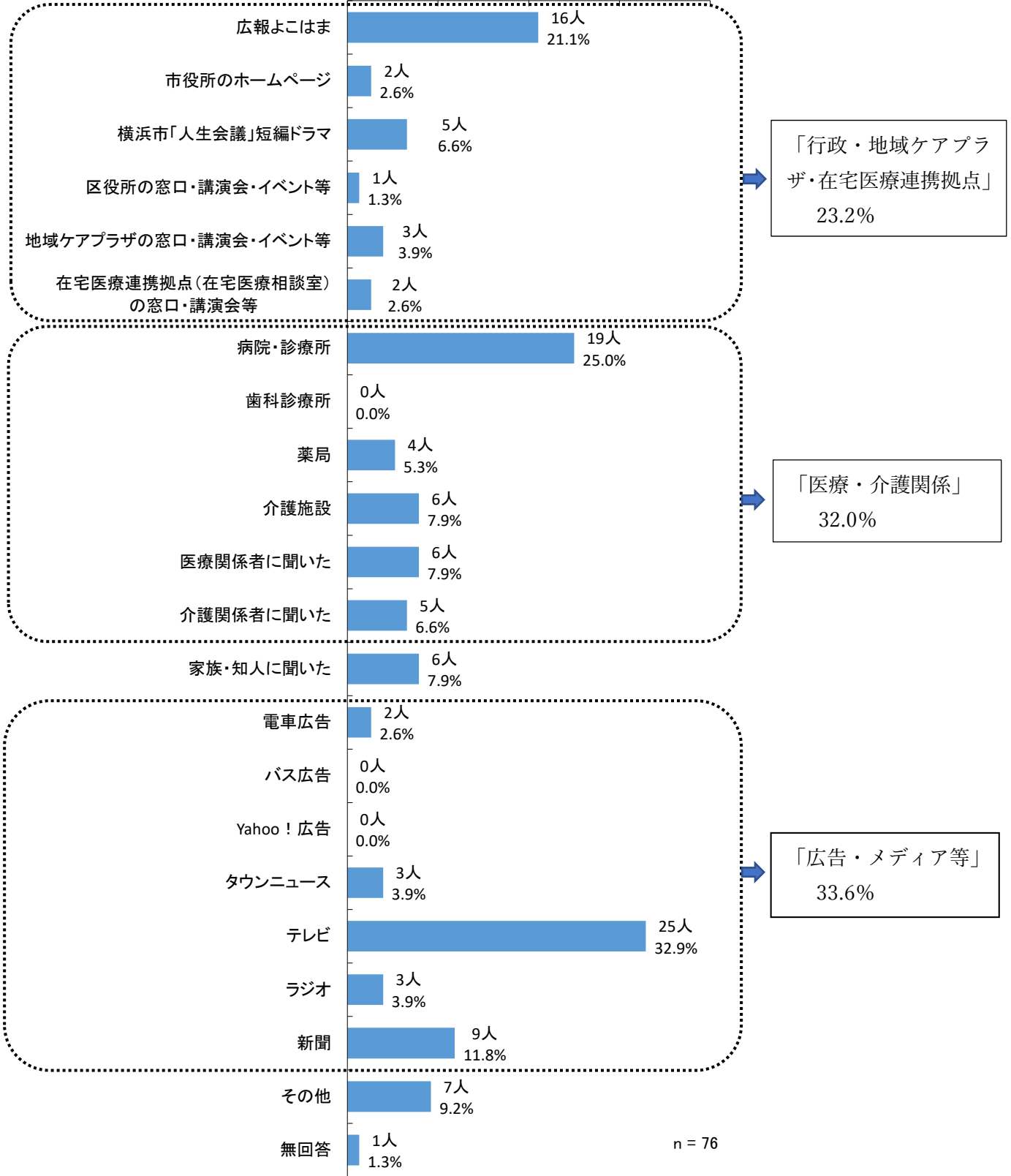
【年代別、医療・介護従事者別】人生会議の認知度

		全体 (件)	問1 人生会議という言葉聞いたことがあるか (%)		
			ある	ない	無回答
全体		1,198	6.3	90.2	3.5
年代	20歳代以下	104	4.8	94.2	1.0
	30歳代	128	7.8	89.8	2.3
	40歳代	190	6.3	92.1	1.6
	50歳代	233	8.6	88.8	2.6
	60歳代	163	7.4	89.6	3.1
	70歳代	209	5.3	90.0	4.8
	80歳以上	136	4.4	87.5	8.1
	無回答	35	0.0	91.4	8.6
医療・介護従事者の有無	はい	153	13.1	83.7	3.3
	いいえ	1,008	5.4	91.3	3.4
	無回答	37	5.4	86.5	8.1

問1-(1) どこで聞きましたか。(複数回答可)

「人生会議」という言葉を聞いたきっかけ

0% 10% 20% 30% 40%

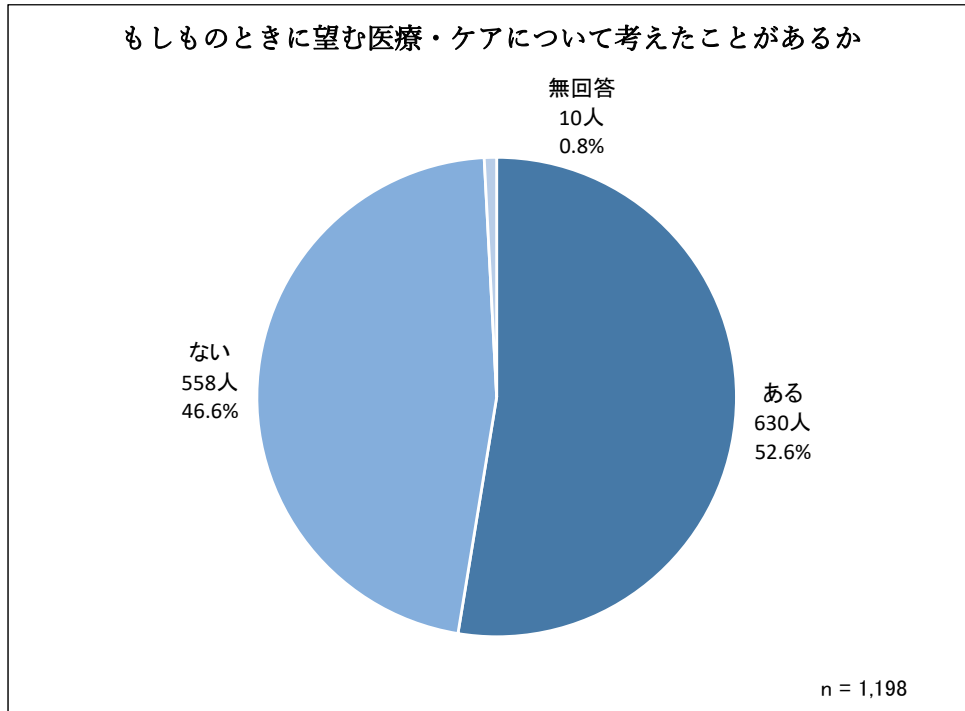


(2)人生の最終段階の医療・ケアについて考えたことがあるか

もしものときに望む医療・ケアについて考えたことがある人は約半数。

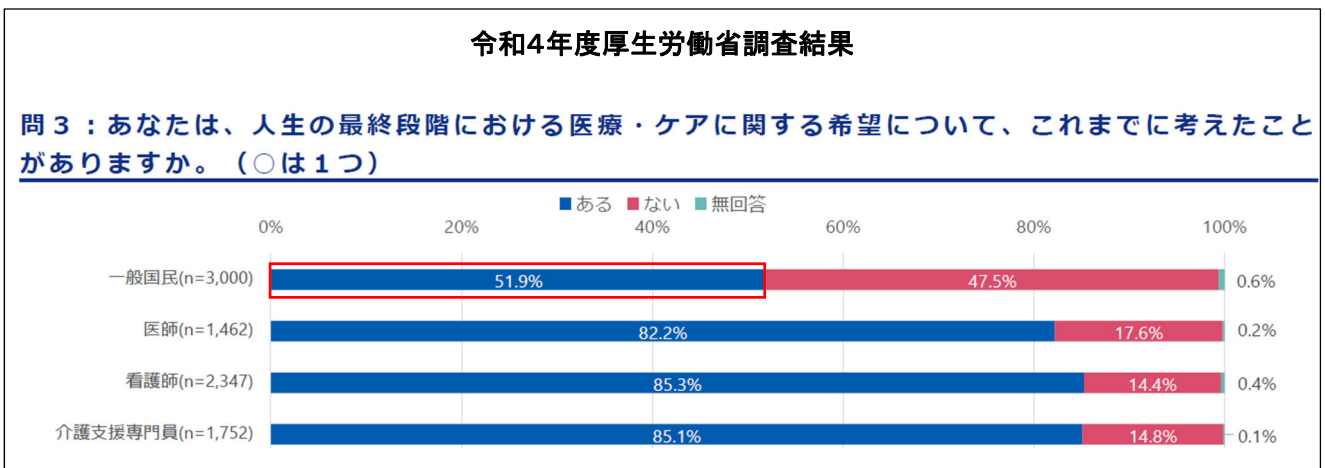
問2 あなたは、もしものとき、どのような医療やケアを望むのか、これまでに考えたことがありますか。

- 回復の見込みがないけがや病気のため、死が避けられない状態となったときに望む医療・ケアについて考えたことがあるか聞いたところ、「ある」が52.6%、「ない」が46.6%。



【厚生労働省調査との比較】

横浜市民のもしものときに望む医療・ケアについて考えたことがある人の割合（52.6%）は、一般国民（51.9%）とほぼ同等である。



<年代別>

・70歳代（59.3%）が最も多く、次いで60歳代（58.9%）、50歳代（54.5%）の順である。最も低いのは30歳代（42.2%）である。

<医療・介護従事者別>

・医療・介護関係の業務経験がある人は、「考えたことがある」が72.5%であり、経験がない人（49.3%）より高い。

<介護経験別>

・介護経験のある人は、「考えたことがある」が62.7%であり、介護経験のない人（46.6%）より高い。

【年代別、医療・介護従事者別、介護経験別】

もしものときに望む医療・ケアについて考えたことがあるか

		全体 (件)	問2 もしものときのことを考えたことがあるか (%)		
			ある	ない	無回答
全体		1,198	52.6	46.6	0.8
年代	20歳代以下	104	44.2	55.8	0.0
	30歳代	128	42.2	57.8	0.0
	40歳代	190	46.8	53.2	0.0
	50歳代	233	54.5	44.6	0.9
	60歳代	163	58.9	40.5	0.6
	70歳代	209	59.3	39.7	1.0
	80歳以上	136	54.4	41.9	3.7
	無回答	35	57.1	42.9	0.0
医療・介護従事者の有無	はい	153	72.5	27.5	0.0
	いいえ	1,008	49.3	49.8	0.9
	無回答	37	59.5	37.8	2.7
介護経験の有無	はい	421	62.7	35.9	1.4
	いいえ	743	46.6	52.9	0.5
	無回答	34	58.8	41.2	0.0

(3) 人生の最終段階の医療・ケアについて話し合ったことがあるか

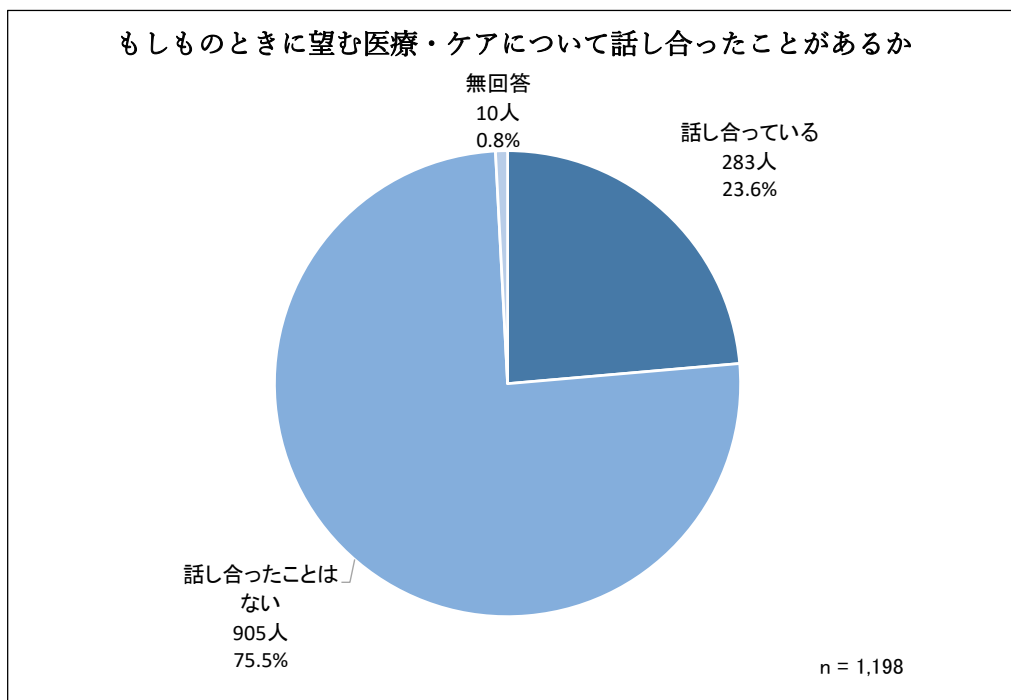
もしものときに望む医療・ケアについて話し合っている人は約4分の1（23.6%）。

話し合いのきっかけは「家族・親族の病気、けが、事故、死」（61.6%）が最も多く、話し合った相手は「家族・親族」が98.2%であり、話し合ったことを記録した人は15.9%。

話し合ったことがない理由は、「話し合うきっかけがなかったから」（74.4%）が最も多い。

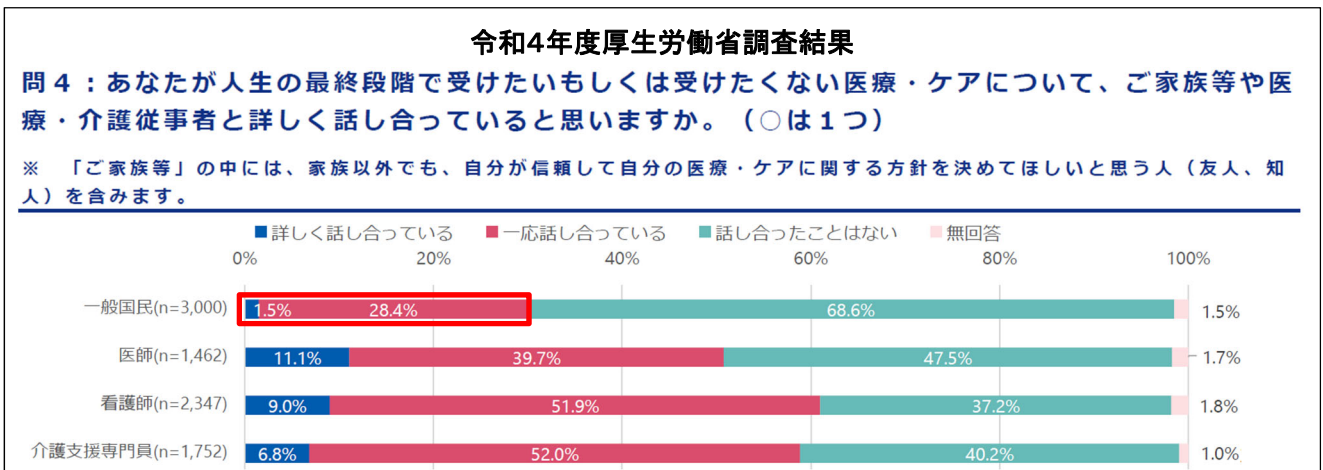
問3 あなたは、もしものとき、どのような医療やケアを望むのか、ご家族等や医療・介護関係者と話し合ったことがありますか。

- 回復の見込みがないけがや病気のため、死が避けられない状態となったときに望む医療・ケアについて家族等や医療・介護関係者と話し合ったことがあるか聞いたところ、「話し合っている」は23.6%で、約4分の1が話し合いを行っている。



【厚生労働省調査との比較】

横浜市民のもしものときに望む医療・ケアについて話し合ったことがある人の割合（23.6%）は、一般国民（29.9%）とほぼ同等である。



<年代別>

- ・「80歳以上」(40.4%)が最も多く、次いで「70歳代」(32.5%)、「50歳代」(25.3%)の順である。

<医療・介護従事者別>

- ・医療・介護関係の業務経験がある人は、「話し合ったことがある」が32.0%であり、経験がない人(21.9%)より高い。

<介護経験別>

- ・介護経験のある人は、「話し合ったことがある」が34.7%であり、介護経験のない人(17.1%)より高い。

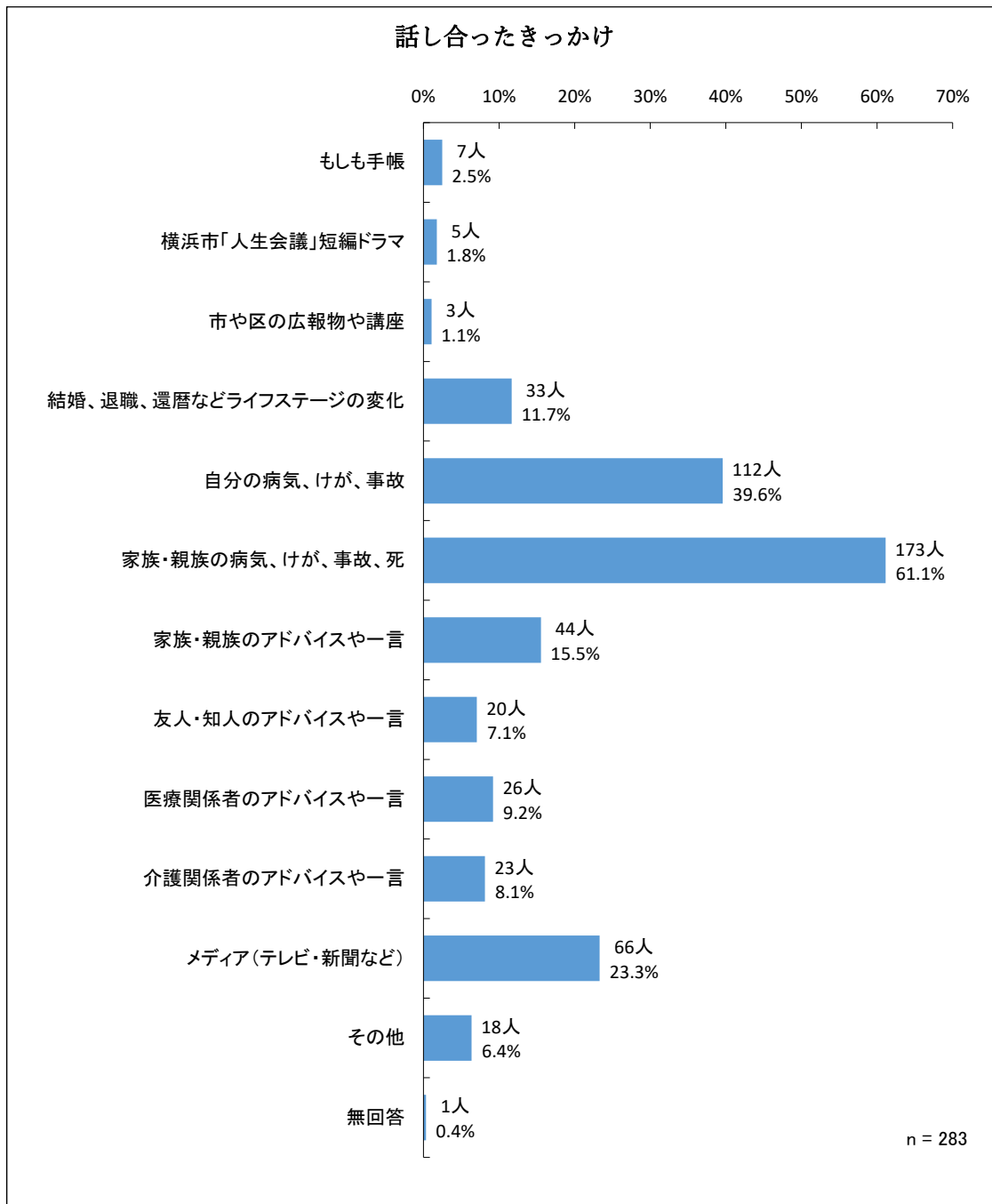
【年代別、医療・介護従事者別、介護経験別】

もしものときに望む医療・ケアについて話し合ったことがあるか

		全体 (件)	問3 もしものときのことを話し合ったことがあるか (%)		
			話し合っている	話し合ったことはない	無回答
全体		1,198	23.6	75.5	0.8
年代	20歳代以下	104	10.6	89.4	0.0
	30歳代	128	13.3	86.7	0.0
	40歳代	190	15.3	84.2	0.5
	50歳代	233	25.3	74.7	0.0
	60歳代	163	20.9	79.1	0.0
	70歳代	209	32.5	66.5	1.0
	80歳以上	136	40.4	55.9	3.7
	無回答	35	28.6	65.7	5.7
医療・介護従事者の有無	はい	153	32.0	67.3	0.7
	いいえ	1,008	21.9	77.3	0.8
	無回答	37	35.1	62.2	2.7
介護経験の有無	はい	421	34.7	64.6	0.7
	いいえ	743	17.1	82.2	0.7
	無回答	34	29.4	64.7	5.9

問3-(1)話し合ったきっかけは何ですか。(複数回答可)

・話し合ったきっかけは、「家族・親族の病気、けが、事故、死」(61.1%)が最も多く、次いで「自分の病気、けが、事故」(39.6%)、「メディア(テレビ・新聞など)」(23.3%)の順である。

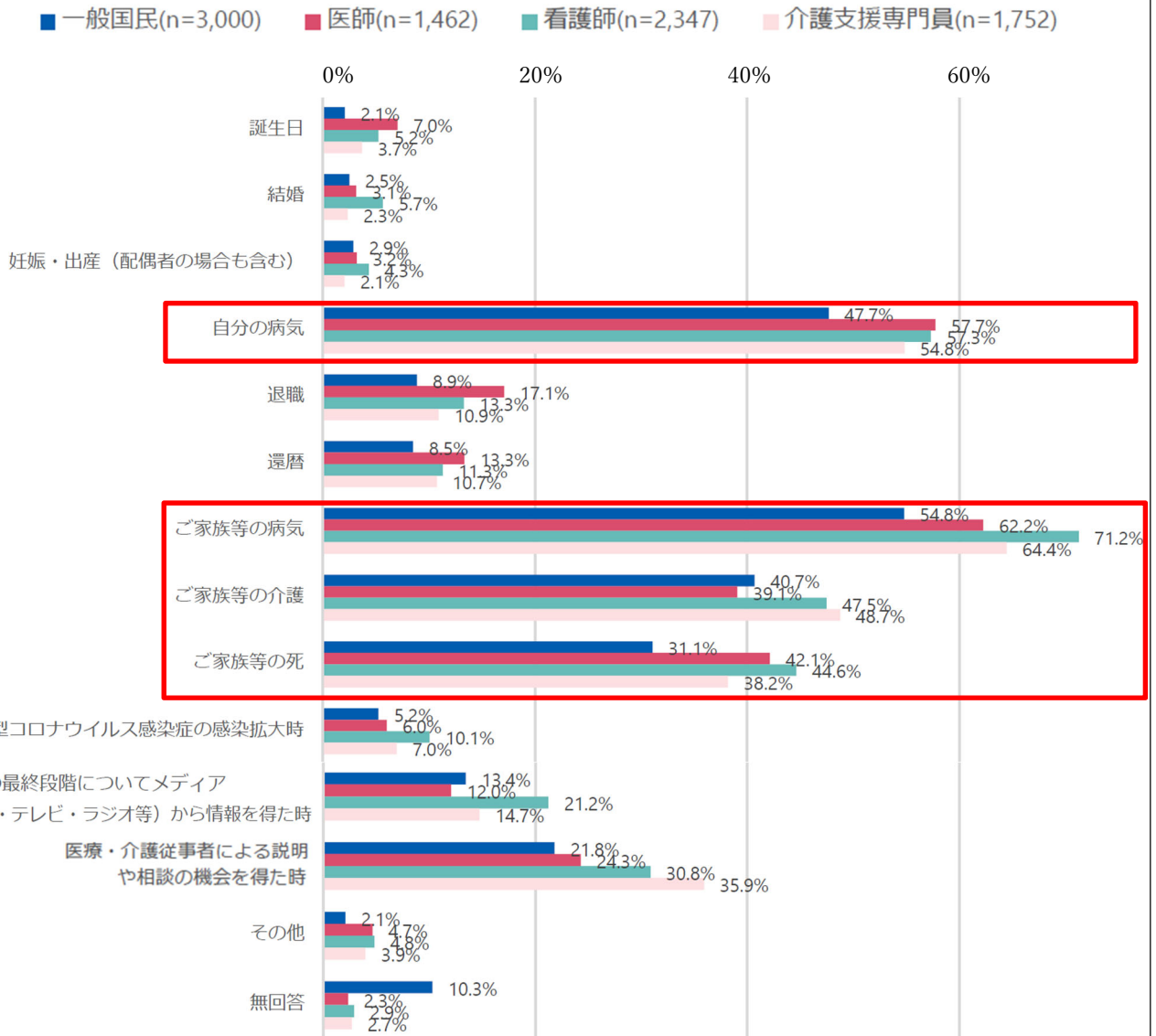


【厚生労働省調査との比較】

話し合ったきっかけは、横浜市民も一般国民も「自身や家族の病気等」が多い傾向は共通である。一般国民では次いで、「医療・介護従事者による説明や相談の機会を得た時」(21.8%)であるが、横浜市民は同類の選択肢である「医療関係者からのアドバイスや一言」「介護関係者からのアドバイスや一言」の合計は9.2%であり、「メディア」(12.4%)よりも下回っている。

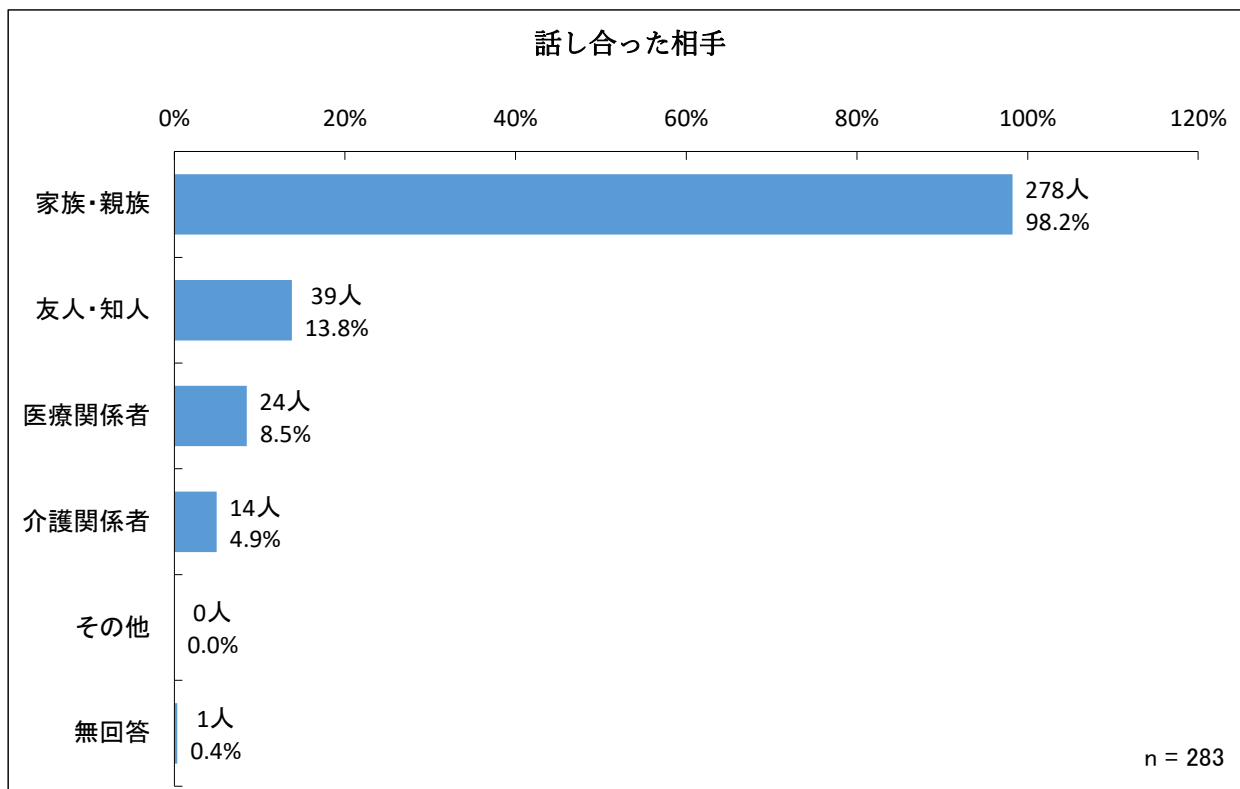
令和4年度厚生労働省調査結果

問6：もし、ご家族等や医療・介護従事者と医療・ケアについて話し合うきっかけがあるとすると、どのような出来事だと思いますか。（問4で「1. 詳しく話し合っている」「2. 一応話し合っている」と回答した方は、何がきっかけでしたか。）（複数回答可）



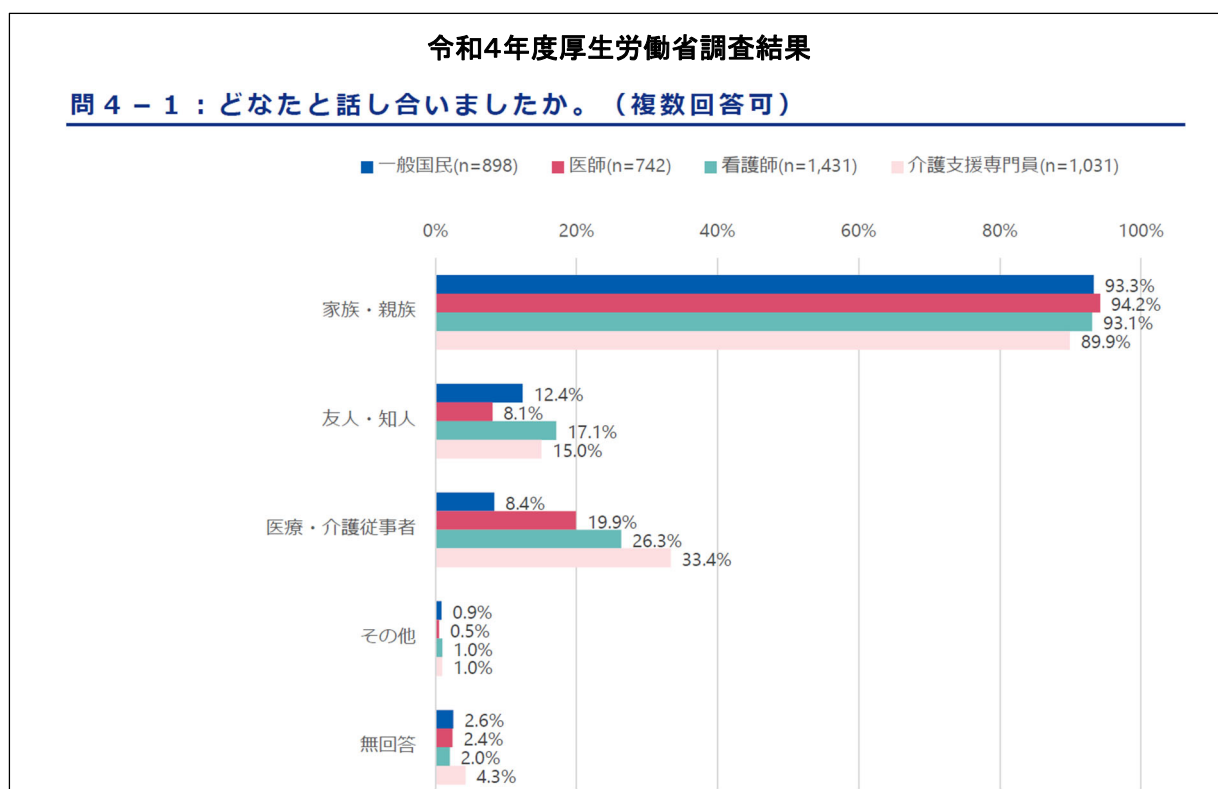
問3-(2)どなたと話し合いましたか。(複数回答可)

・話し合いの相手は、「家族・親族」(98.2%)が最も多い。



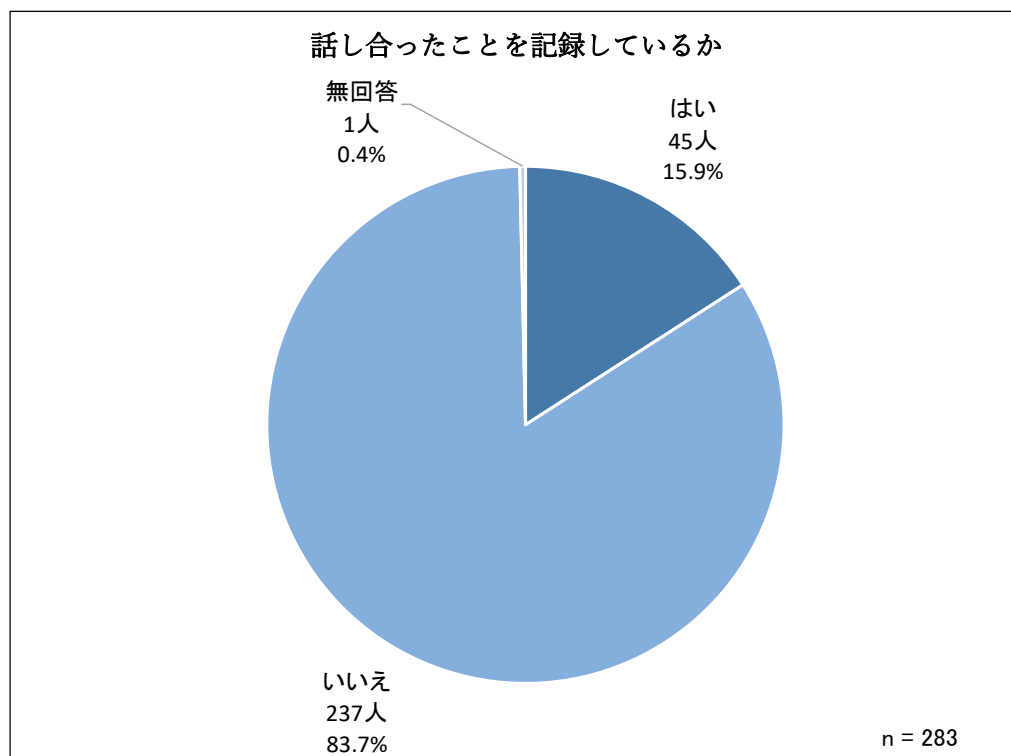
【厚生労働省調査との比較】

話し合いの相手は横浜市民も一般国民も「家族・親族」が9割以上であり、その他の選択肢の割合もほぼ同等である。



問3-(3) 話し合ったことを紙に書くなど記録しましたか。

- ・もしものときに望む医療・ケアについて話し合ったことがある人のうち、話し合ったことを記録している人は15.9%。



<年代別>

- ・記録している割合は「80歳以上」(27.3%)が最も多く、次いで「70歳代」(22.1%)、「20歳代以下」(18.2%)である。

<同居人の有無別>

- ・同居人がいない人は話し合ったことを記録している割合が22.6%であり、同居人がいる人(15.3%)より多い。

<医療・介護従事者別>

- ・医療・介護関係の業務経験がある人は、話し合ったことを記録している割合が12.2%であり、経験がない人(16.3%)より低い。

<介護経験別>

- ・介護経験のある人は、話し合ったことを記録している割合が23.3%であり、介護経験のない人(7.9%)より高い。

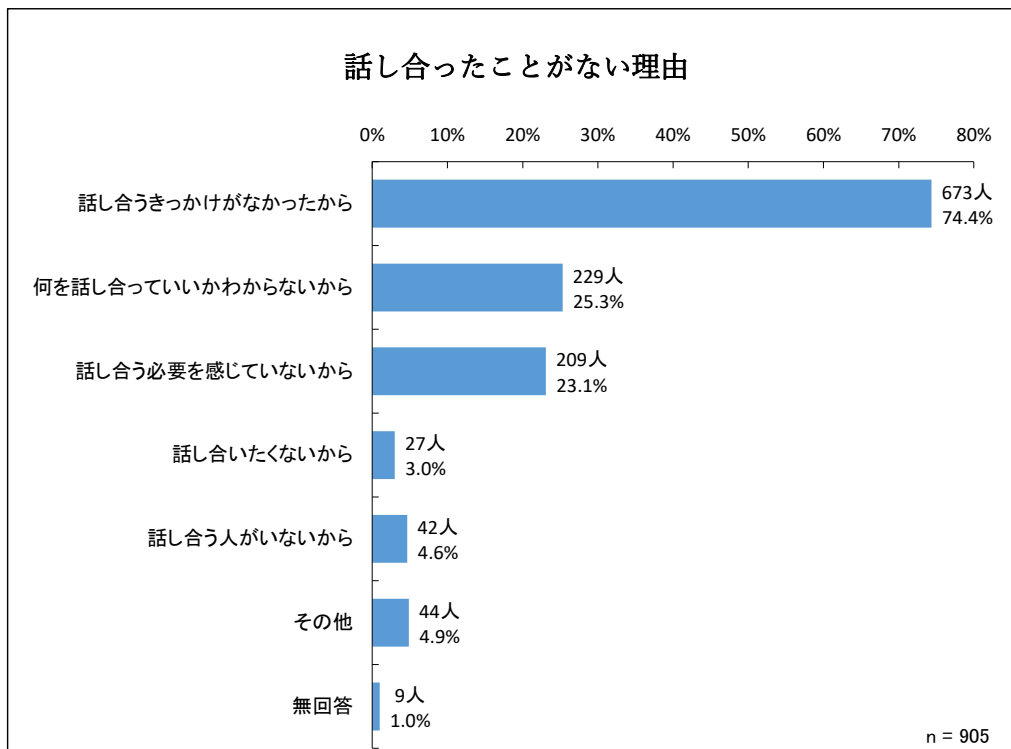
【年代別、同居人有無別、医療・介護従事者別、介護経験別】

話し合ったことを記録したか

		全体 (件)	問3-(3) 話し合ったことを記録 したか (%)		
			はい	いいえ	無回答
全体		283	15.9	83.7	0.4
年代	20歳代以下	11	18.2	81.8	0.0
	30歳代	17	5.9	94.1	0.0
	40歳代	29	13.8	86.2	0.0
	50歳代	59	3.4	96.6	0.0
	60歳代	34	14.7	85.3	0.0
	70歳代	68	22.1	77.9	0.0
	80歳以上	55	27.3	70.9	1.8
	無回答	10	10.0	90.0	0.0
同居人の 有無	いる	242	15.3	84.7	0.0
	いない	31	22.6	74.2	3.2
	無回答	10	10.0	90.0	0.0
医療・介 護従事の 有無	はい	49	12.2	87.8	0.0
	いいえ	221	16.3	83.7	0.0
	無回答	13	23.1	69.2	7.7
介護経験 の有無	はい	146	23.3	76.0	0.7
	いいえ	127	7.9	92.1	0.0
	無回答	10	10.0	90.0	0.0

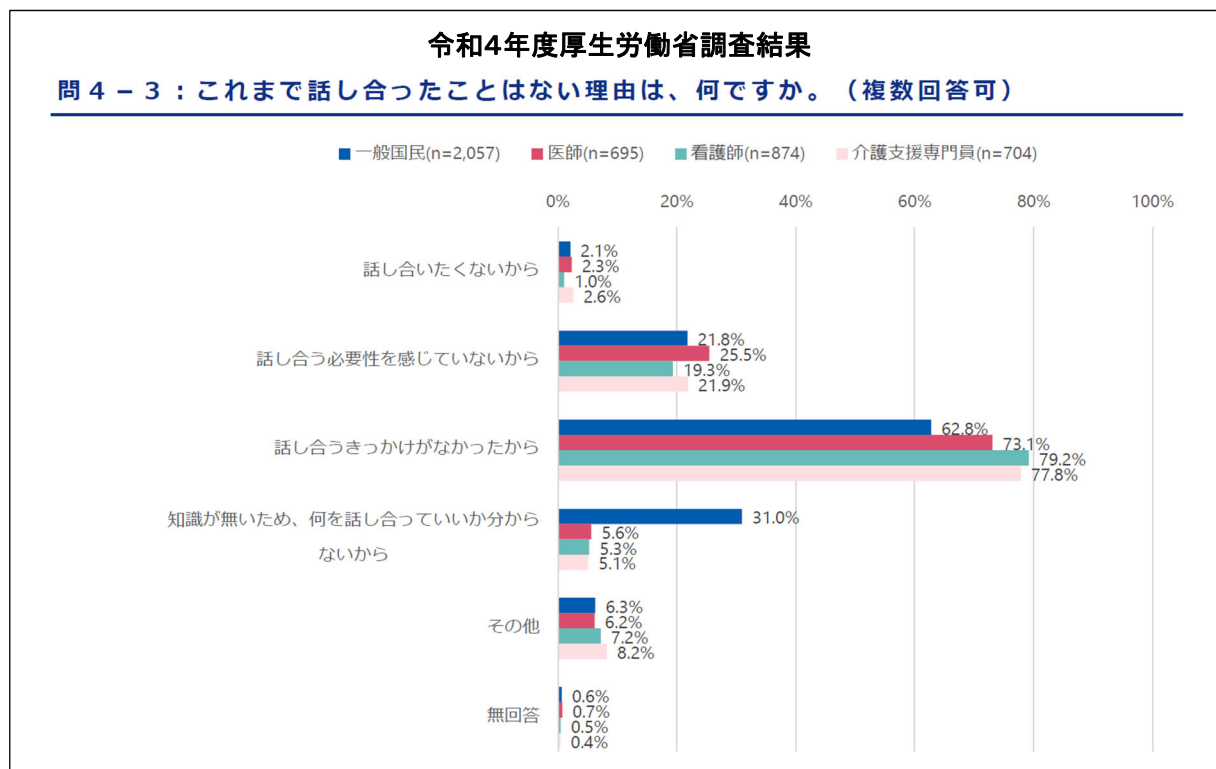
問3-(4)これまで話し合ったことがない理由は何ですか。(複数回答可)

- ・話し合ったことがない理由は、「話し合うきっかけがなかったから」(74.4%)が最も多く、次いで「何を話し合っていないかわからないから」(25.3%)、「話し合う必要を感じていないから」(23.1%)の順である。
- ・その他として「まだ元気だから」「相手が嫌がるから」等の意見が挙げられている。



【厚生労働省調査との比較】

横浜市民も一般国民も「話し合うきっかけがなかったから」が最も多く、次いで「何を話し合っていないかわからないから」「話し合う必要を感じていないから」の順も同じである。



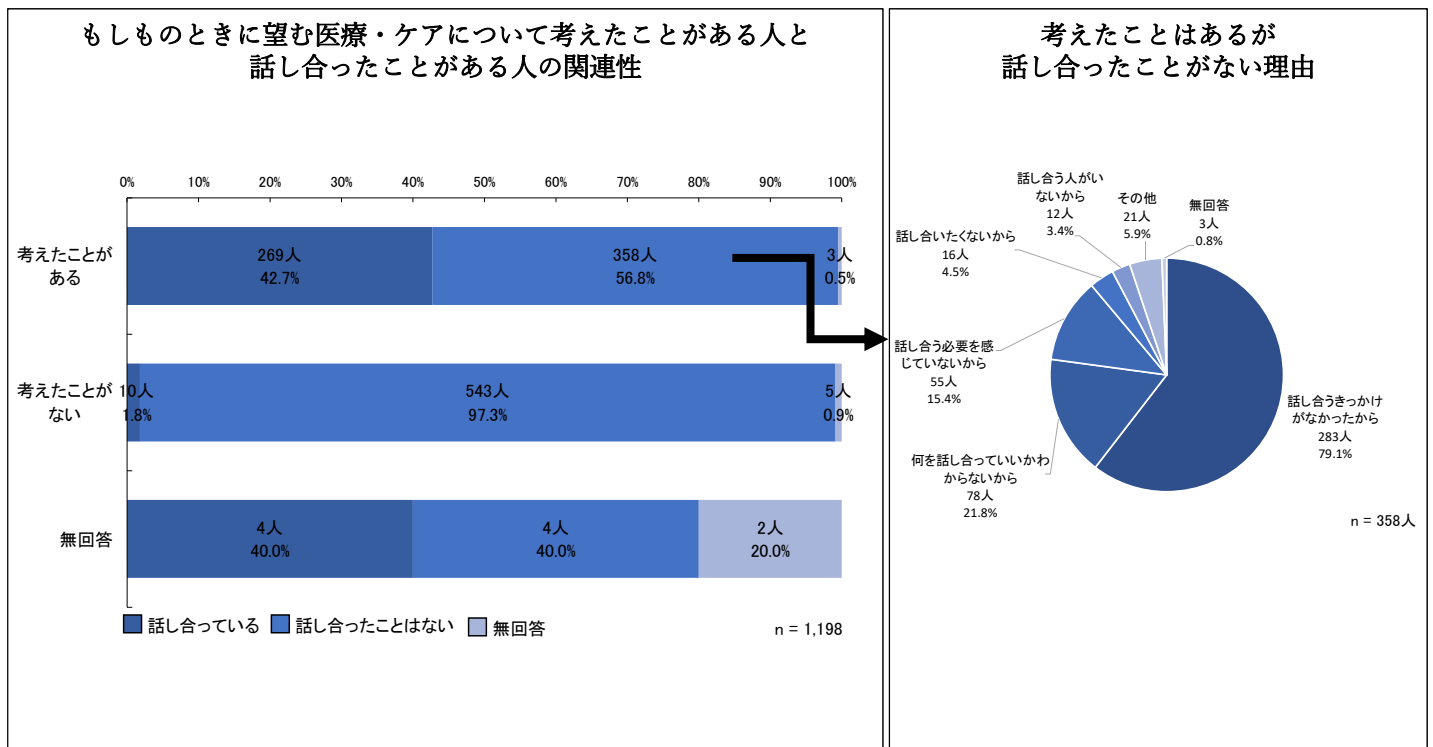
<年代別>

- ・全ての年代で「話し合うきっかけがなかったから」が最も多い。
- ・70歳代、80歳以上は「話し合う必要を感じていないから」が他の年代と比べて高い傾向にある。

		全体 (件)	問3-(4) 話し合ったことがない理由 (%)						無回答
			話し合う きっかけ がなかつ たから	何を話し 合ってい かわか らないか ら	話し合う 必要を感 じていな いから	話し合い たくない から	話し合う 人がいな いから	その他	
全体		905	74.4	25.3	23.1	3.0	4.6	4.9	1.0
年代	20歳代以下	93	82.8	23.7	17.2	4.3	2.2	1.1	1.1
	30歳代	111	77.5	26.1	20.7	1.8	4.5	1.8	0.0
	40歳代	160	75.6	27.5	20.6	3.1	3.8	3.1	1.3
	50歳代	174	76.4	27.6	17.8	3.4	2.9	5.7	0.6
	60歳代	129	75.2	20.9	23.3	1.6	7.8	5.4	0.0
	70歳代	139	65.5	26.6	32.4	3.6	6.5	9.4	1.4
	80歳以上	76	65.8	19.7	36.8	3.9	6.6	5.3	2.6
	無回答	23	78.3	30.4	13.0	0.0	0.0	8.7	4.3

<もしものときに望む医療・ケアについて考えたことはあるが話し合ったことがない理由>

- ・もしものときに望む医療・ケアについて考えたことがある人のうち、話し合ったことがない人は56.8%。その理由は、「話し合うきっかけがなかったから」(60.5%)が最も多く、次いで「何を話し合っていないかわからないから」(16.7%)、「話し合う必要性を感じていないから」(11.8%)の順である。



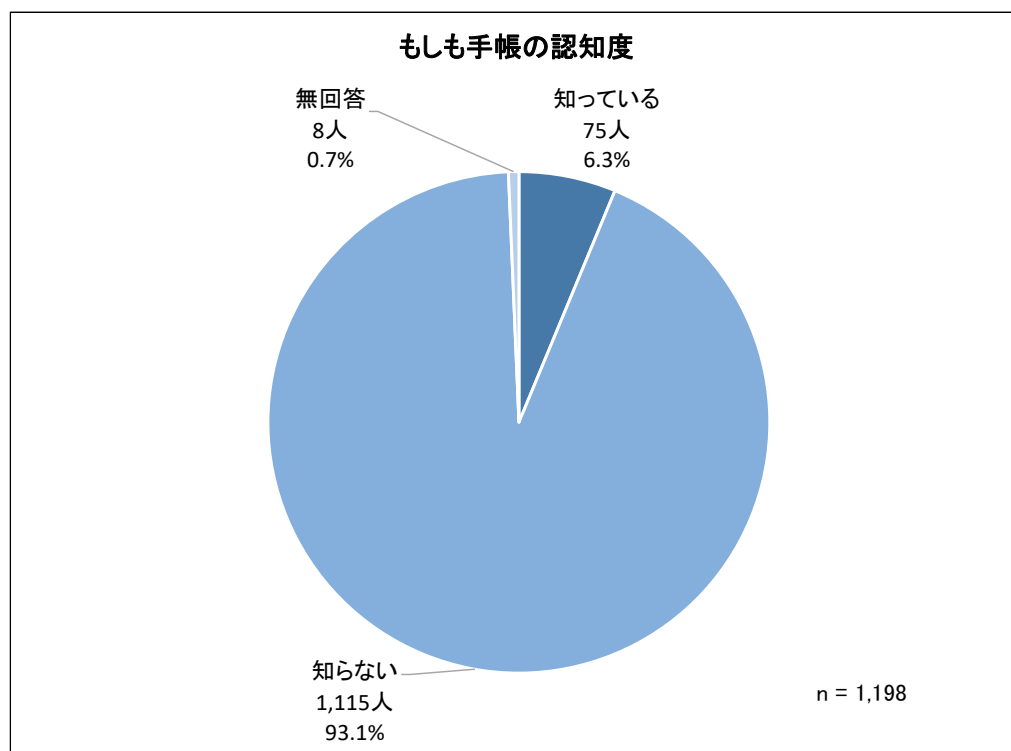
2. 医療・ケアについての「もしも手帳」について

(1)「もしも手帳」の認知度

もしも手帳の認知度は6.3%であり、知ったきっかけは、「広報よこはま」(26.7%)が最も多い。

問4「もしも手帳」を知っていますか。

・もしも手帳を「知っている」が6.3%であり、「知らない」が93.1%。



<年代別>

・「80歳以上」(11.0%)が最も多く、年代が高い方が認知度も高くなる傾向がある。

<同居人の有無別>

・同居人がいない人のもしも手帳の認知度は11.0%であり、同居人がいる人(5.5%)より高い。

<医療・介護従事者別>

・医療・介護関係の業務の従事経験がある人のもしも手帳の認知度は12.4%であり、従事経験がない人(5.4%)より高い。

【年代別、同居人の有無別、医療・介護従事者別】もしも手帳の認知度

		全体 (件)	問4 「もしも手帳」を知っているか (%)		
			知っている	知らない	無回答
全体		1,198	6.3	93.1	0.7
年代	20歳代以下	104	4.8	95.2	0.0
	30歳代	128	2.3	97.7	0.0
	40歳代	190	5.3	94.7	0.0
	50歳代	233	5.6	94.0	0.4
	60歳代	163	6.7	93.3	0.0
	70歳代	209	7.7	90.9	1.4
	80歳以上	136	11.0	86.0	2.9
	無回答	35	5.7	94.3	0.0
同居人の有無	いる	1,011	5.5	93.8	0.7
	いない	154	11.0	88.3	0.6
	無回答	33	6.1	93.9	0.0
医療・介護従事者の有無	はい	153	12.4	87.6	0.0
	いいえ	1,008	5.4	93.9	0.7
	無回答	37	5.4	91.9	2.7

< 「もしも手帳」の認知度と「人生会議」の認知度の関連性 >

・もしも手帳を知っている人の人生会議の認知度は36.0%であり、もしも手帳を知らない人(4.3%)より顕著に高い。

< 「もしも手帳」の認知度と「もしものときに望む医療・ケアを考えたことがある」の関連性 >

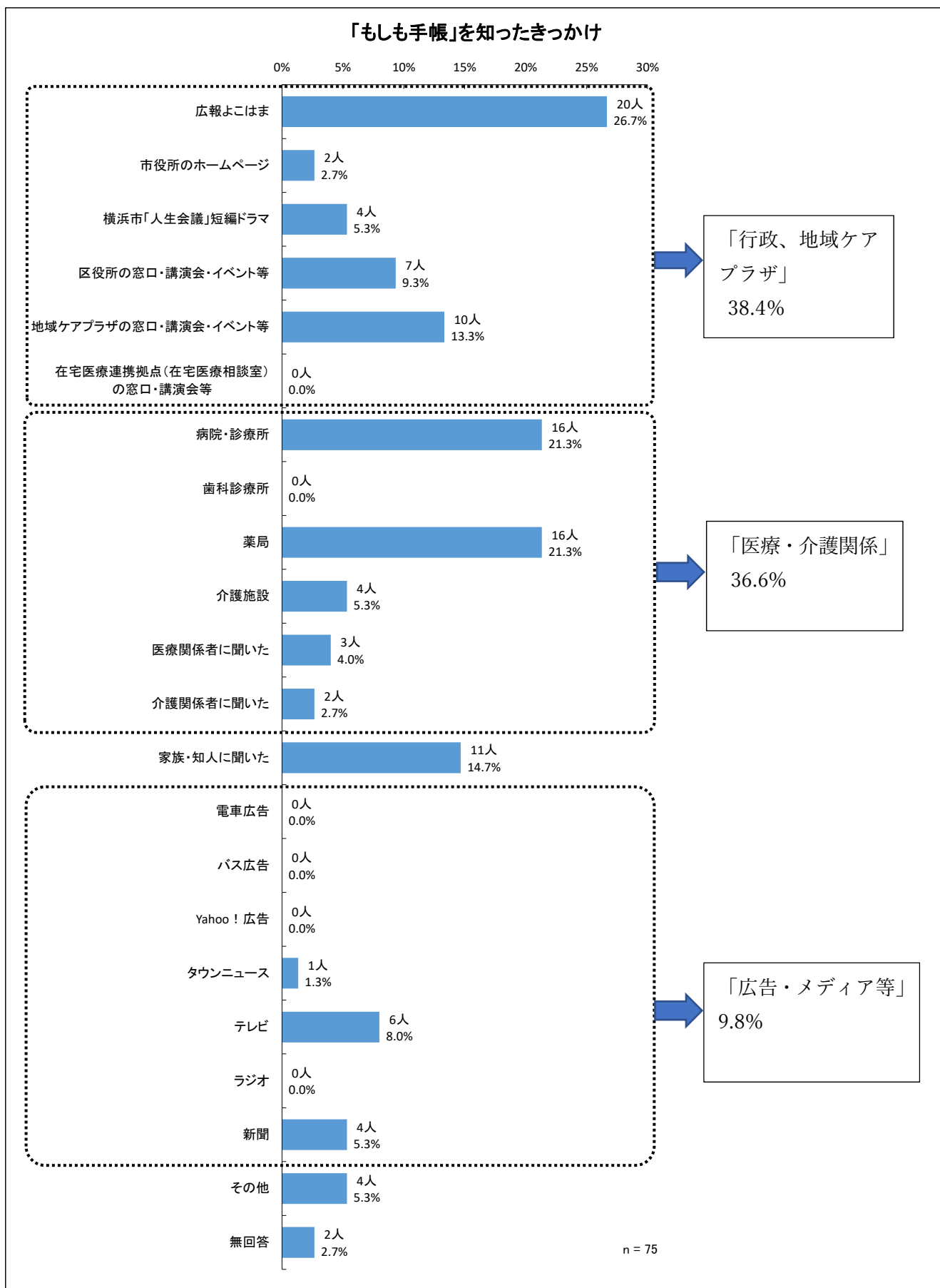
・もしも手帳を知っている人は、もしものときに望む医療・ケアを考えたことがある割合が74.7%であり、もしも手帳を知らない人(51.0%)より顕著に高い。

もしも手帳の認知度との関連性

	全体 (件)	問1 人生会議という言葉を知っているか (%)			問2 もしものときに望む医療・ケアを考えたことがあるか (%)			問3 もしものときに望む医療・ケアを話したことがあるか (%)		
		ある	ない	無回答	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答
全体	1,198	6.3	90.2	3.5	52.6	46.6	0.8	23.6	75.5	0.8
「もしも手帳」の認知										
知っている	75	36.0	52.0	12.0	74.7	24.0	1.3	48.0	49.3	2.7
知らない	1,115	4.3	93.2	2.5	51.0	48.3	0.6	22.0	77.5	0.5
無回答	8	12.5	25.0	62.5	62.5	12.5	25.0	25.0	50.0	25.0

問4-(1)どこで知りましたか。(複数回答可)

・もしも手帳を知ったきっかけは、「広報よこはま」(26.7%)が最も多く、次いで「病院・診療所」(21.3%)、「薬局」(21.3%)、「家族・知人から」(14.7%)の順である。



(2)「もしも手帳」の所持率

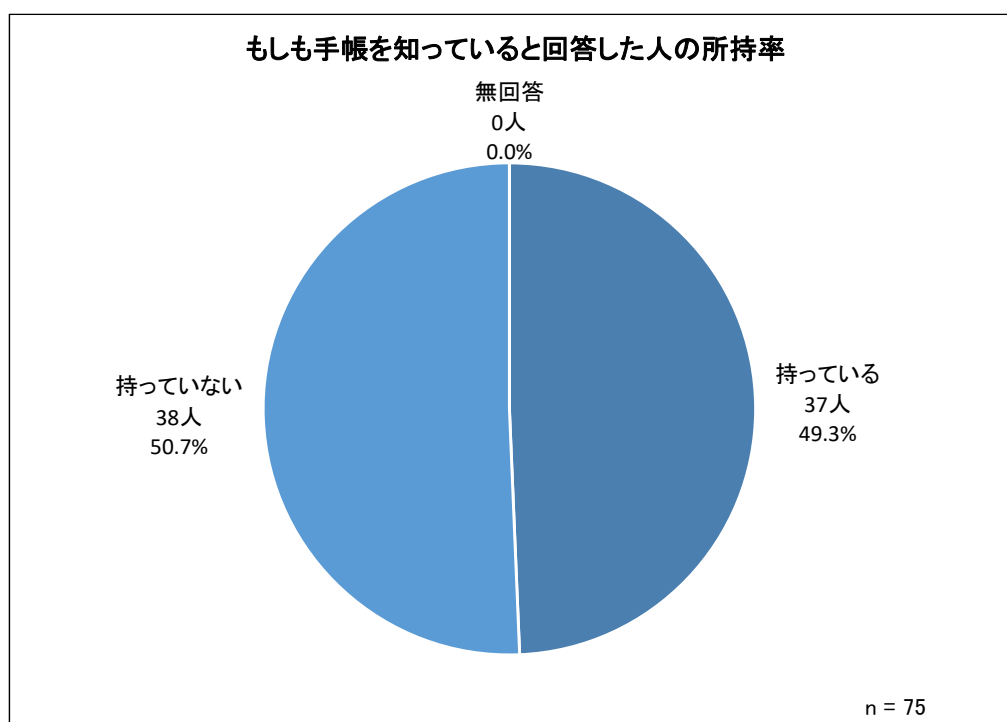
「もしも手帳」を知っている人のうち、持っている人は49.3%であり、入手先は「区役所の窓口・講演会・イベント等」(32.4%)が最も多い。

年代別では、「70歳代」(76.6%)が最も多い。

持っていない理由は、「入手方法がわからない」(28.9%)と「自分には必要と思わない」(28.9%)が同数で最も多い。

問5「もしも手帳」を持っていますか。

- ・「もしも手帳」を知っている人のうち、持っている人は49.3%で約半数。
- ・回答者全体 (n=1,198) の所持率は3.1%。



<年代別>

- ・「70歳代」が75.0%、「80歳以上」が60.0%であり、他の年代と比べて高い傾向にある。

<同居人の有無別>

- ・同居人がいない人のもしも手帳の所持率は64.7%であり、同居人がいる人(42.9%)より高い。

<医療・介護従事者別>

- ・医療・介護関係の業務経験がある人のもしも手帳の所持率は31.6%であり、経験がない人(55.6%)より低い。

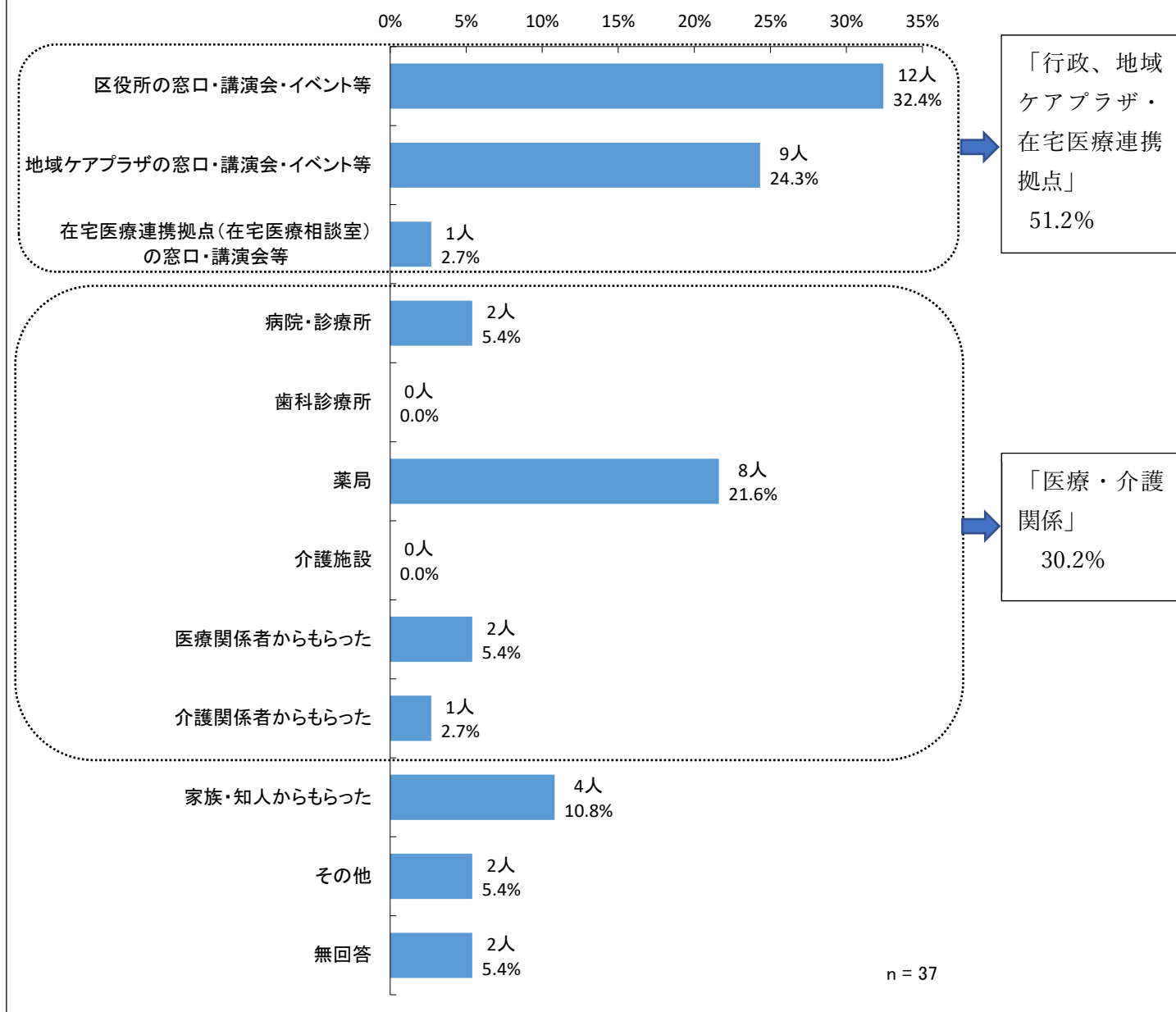
もしも手帳を知っている人の所持率
【年代別、同居人の有無別、医療・介護従事者別】

		全体 (件)	問5 「もしも手帳」 持っているか (%)		
			持っている	持っていない	無回答
全体		75	49.3	50.7	0.0
年代	20歳代以下	5	20.0	80.0	0.0
	30歳代	3	0.0	100.0	0.0
	40歳代	10	40.0	60.0	0.0
	50歳代	13	38.5	61.5	0.0
	60歳代	11	36.4	63.6	0.0
	70歳代	16	75.0	25.0	0.0
	80歳以上	15	60.0	40.0	0.0
	無回答	2	100.0	0.0	0.0
同居人の有無	いる	56	42.9	57.1	0.0
	いない	17	64.7	35.3	0.0
	無回答	2	100.0	0.0	0.0
医療・介護従事者の有無	はい	19	31.6	68.4	0.0
	いいえ	54	55.6	44.4	0.0
	無回答	2	50.0	50.0	0.0

問5-(1) どこで入手しましたか。(複数回答可)

・もしも手帳を持っている人が、入手した先は「区役所の窓口・講演会・イベント等」(32.4%)
 が最も多く、次いで「地域ケアプラザの窓口・講演会・イベント等」(24.3%)、「薬局」
 (21.6%) の順である。

もしも手帳の入手先



(3)「もしも手帳」への記入率

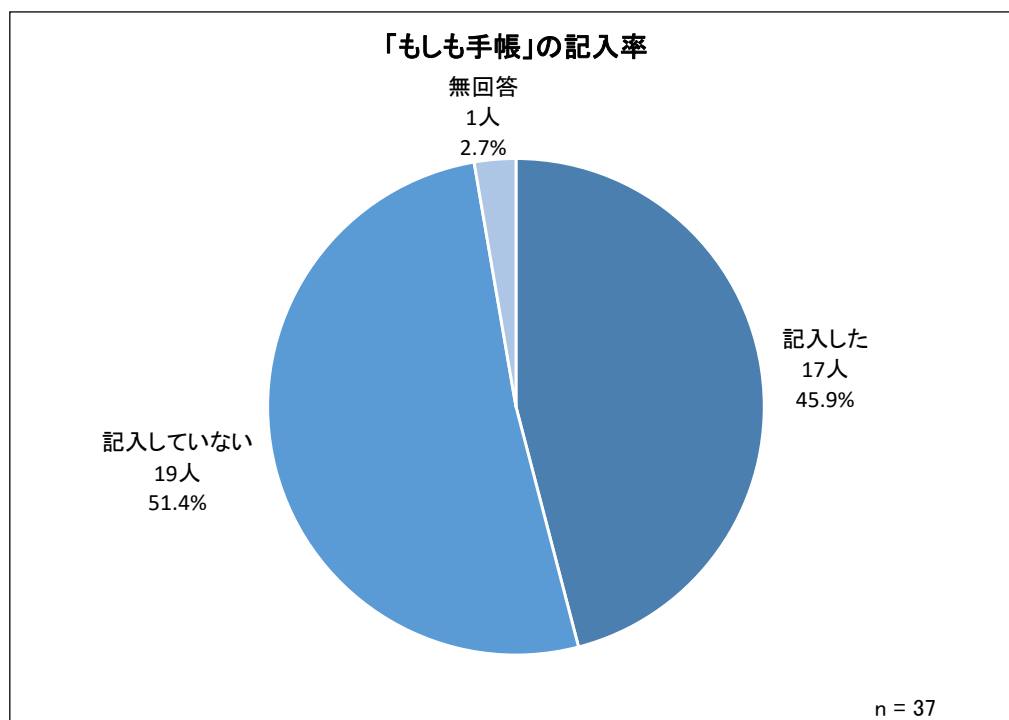
もしも手帳を持っている人のうち、「記入した」は45.9%。

記入のしやすさは「ふつう」(58.8%)が最も多く、記入した感想は「考えておくべきことがわかって良かった」(82.4%)が最も多い。

記入していない人の理由は、「今は記入の必要がないと思った」(63.2%)が最も多い。

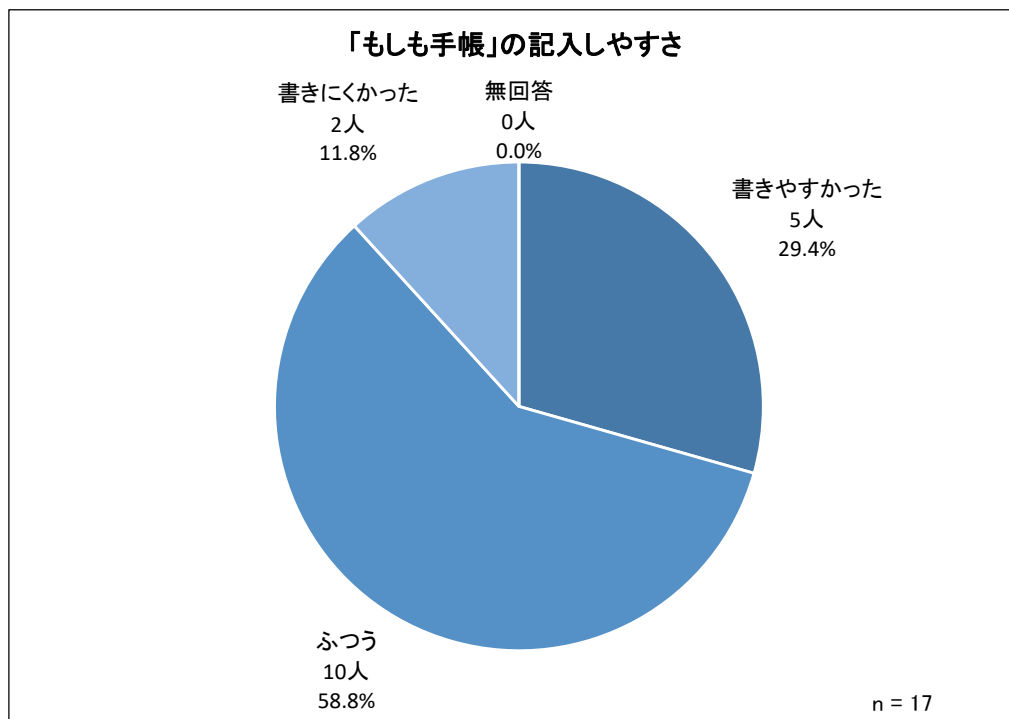
問5-(2) 「もしも手帳」に記入しましたか。

・もしも手帳を「持っている」と回答した人のうち、「記入した」は45.9%と約半数。



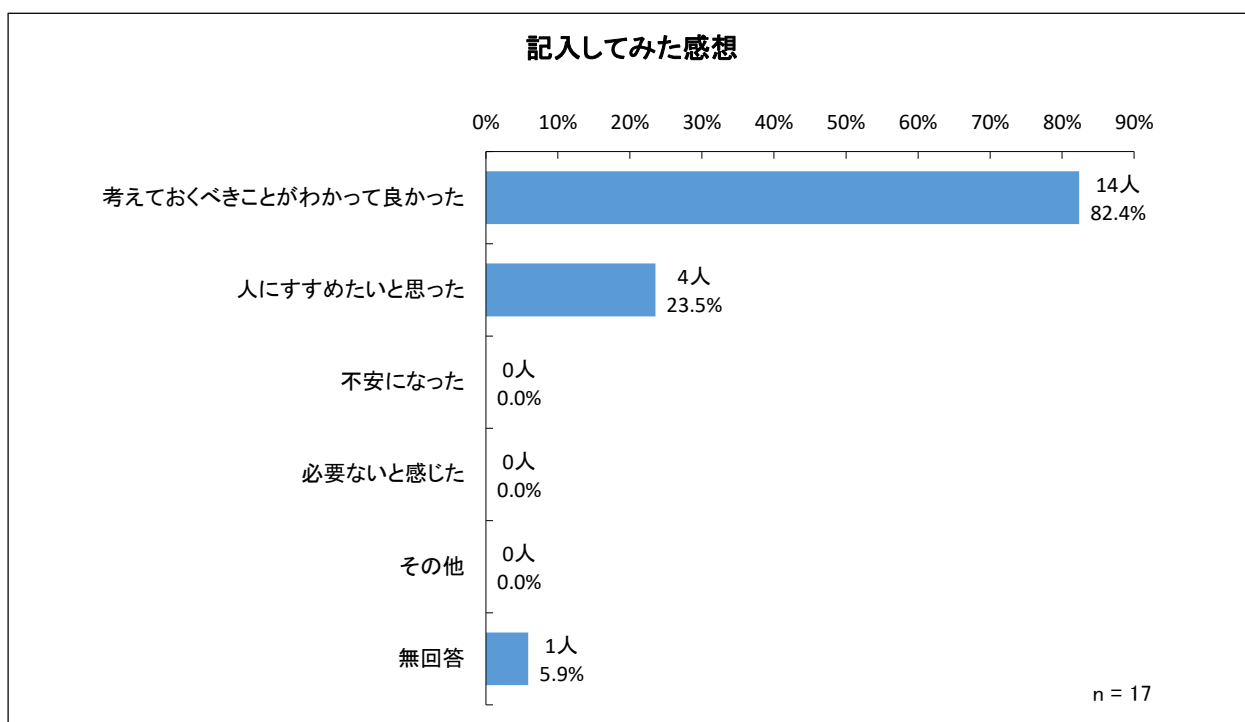
問5-(3) 記入しやすさはどうでしたか。

- ・もしも手帳に「記入した」と回答した人に記入しやすさを聞いたところ、「ふつう」(58.8%)が最も多く、次いで「書きやすかった」(29.4%)の順である。



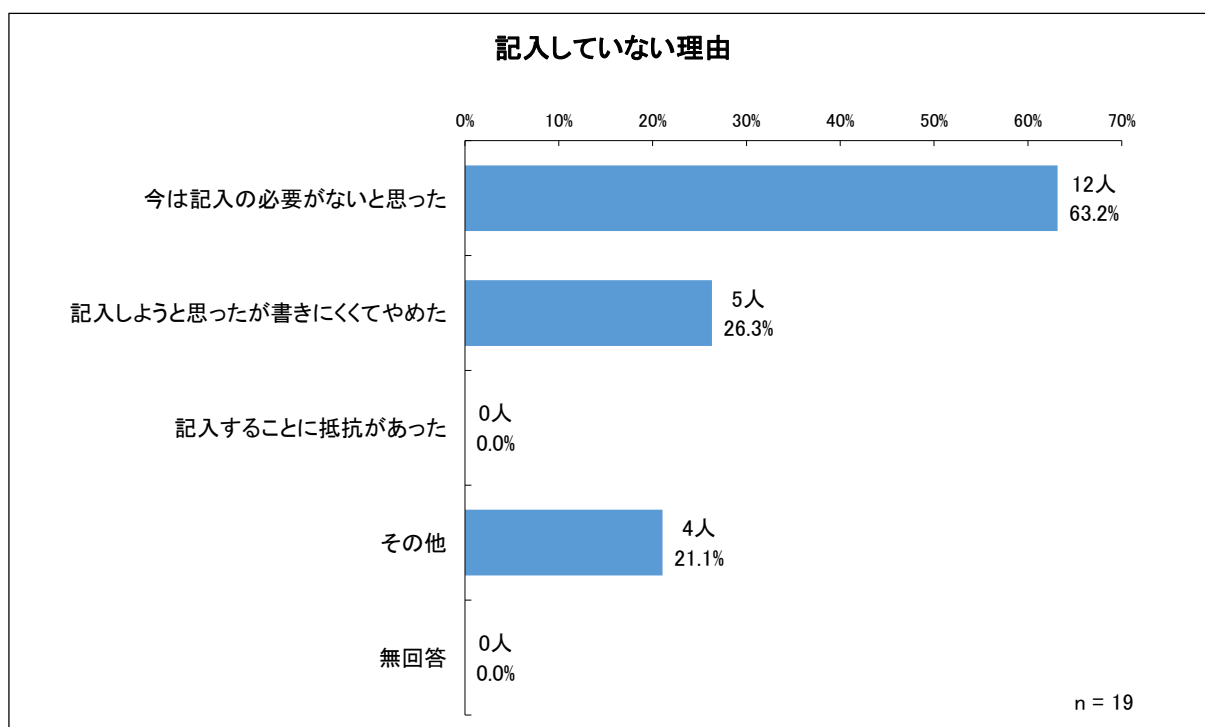
問5-(4) 記入してみた感想はどうでしたか。(複数回答可)

- ・もしも手帳に「記入した」と回答した人に感想を聞いたところ、「考えておくべきことがわかってよかった」(82.4%)が最も多い。
- ・「不安になった」「必要ないと感じた」と回答した人はいなかった。



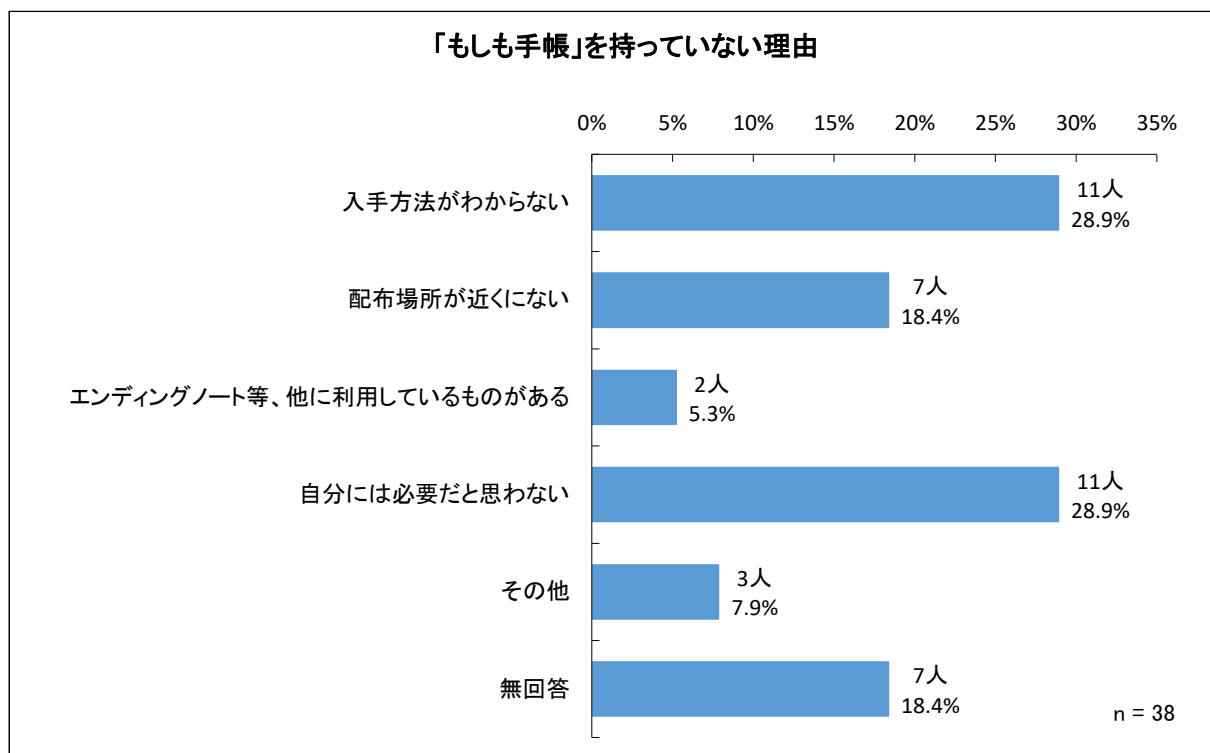
問5-(5) 記入していない理由は何ですか。(複数回答可)

- ・もしも手帳を持っているが記入していない人にその理由を聞いたところ、「今は記入の必要がないと思った」(63.2%)が最も多い。
- ・その他として「時間がない」等の意見が挙げられている。



問5-(6) 「もしも手帳」を持っていない理由は何ですか。(複数回答可)

- ・もしも手帳を持っていないと回答した人にその理由を聞いてみたところ、「入手方法がわからない」(28.9%)・「自分には必要だと思わない」(28.9%)が同数で最も多い。
- ・その他の意見として「パンフレットがたくさんあり何が大切かわからない」等の意見が挙げられている。



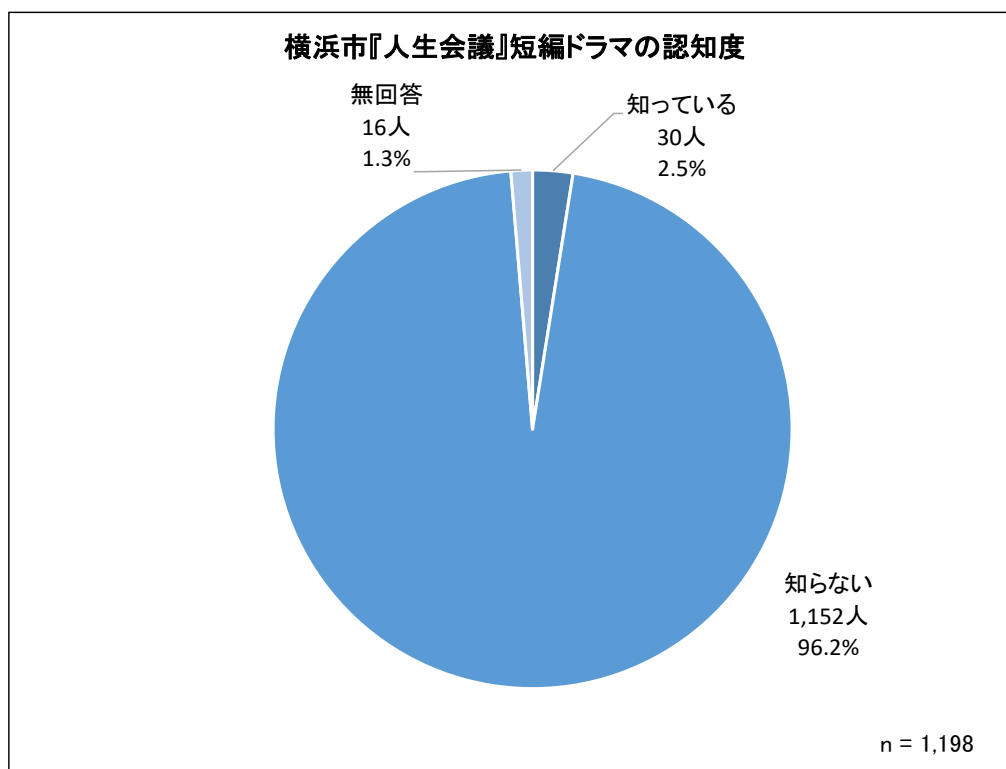
3. 横浜市「人生会議」短編ドラマについて

(1) 「横浜市『人生会議』短編ドラマ」の認知度

「横浜市『人生会議』短編ドラマ」の認知度は2.5%。
知ったきっかけは「広報よこはま」(36.7%)が最も多い。

問6 「横浜市『人生会議』短編ドラマ」を知っていますか。

・「横浜市『人生会議』短編ドラマ」を「知っている」が2.5%で、「知らない」が96.2%。



<年代別>

・「80歳以上」(5.1%)が最も多い。

<医療・介護従事者別>

・医療・介護関係の業務経験がある人のドラマの認知度は5.2%であり、経験がない人(2.1%)より高い。

		全体 (件)	問6 ドラマ「人生会議」を知っているか (%)		
			知っている	知らない	無回答
全体		1,198	2.5	96.2	1.3
年代	20歳代以下	104	1.9	98.1	0.0
	30歳代	128	1.6	97.7	0.8
	40歳代	190	2.1	96.8	1.1
	50歳代	233	2.6	97.4	0.0
	60歳代	163	1.2	97.5	1.2
	70歳代	209	3.3	94.7	1.9
	80歳以上	136	5.1	89.7	5.1
	無回答	35	0.0	100.0	0.0
医療・介護従事の有無	はい	153	5.2	94.1	0.7
	いいえ	1,008	2.1	96.4	1.5
	無回答	37	2.7	97.3	0.0

<ドラマの認知度と「人生会議」の認知度の関連性>

・ドラマを知っている人の人生会議の認知度は60.0%であり、ドラマを知らない人(4.9%)より顕著に高い。

<ドラマの認知度と「もしものときに望む医療・ケアを考えたことがある」の関連性>

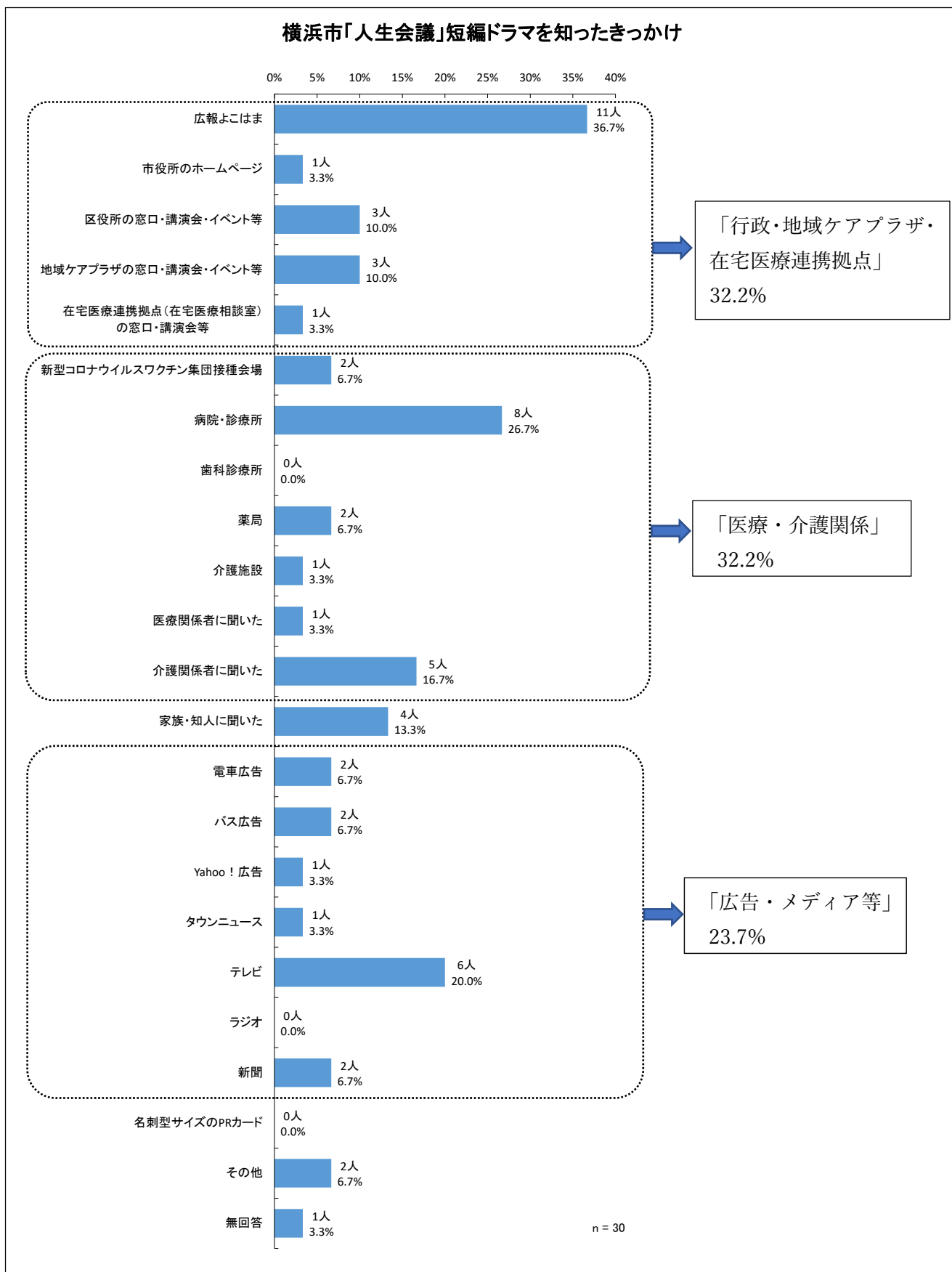
・ドラマを知っている人は、もしものときに望む医療・ケアを考えたことがある割合が73.3%であり、ドラマを知らない人(51.8%)より顕著に高い。

ドラマの認知度との関連性

		全体 (件)	問1 人生会議という言葉を知っているか (%)			問2 もしものときに望む医療・ケアを考えたことがあるか (%)			問3 もしものときに話を聞いたことがあるか (%)		
			ある	ない	無回答	ある	ない	無回答	ある	ない	無回答
全体		1,198	6.3	90.2	3.5	52.6	46.6	0.8	23.6	75.5	0.8
短編ドラマの認知	知っている	30	60.0	23.3	16.7	73.3	16.7	10.0	56.8	40.5	2.7
	知らない	1,152	4.9	92.1	3.0	51.8	47.7	0.5	39.5	57.9	2.6
	無回答	16	6.3	75.0	18.8	68.8	25.0	6.3	0.0	0.0	0.0

問6-(1) どこで知りましたか。(複数回答可)

・「横浜市『人生会議』短編ドラマ」を知っていると回答した人に、どこで知ったかを聞いたところ、「広報よこはま」(36.7%)が最も多く、次いで「病院・診療所」(26.7%)、「テレビ」(20.0%)、「介護関係者に聞いた」(16.7%)の順である。



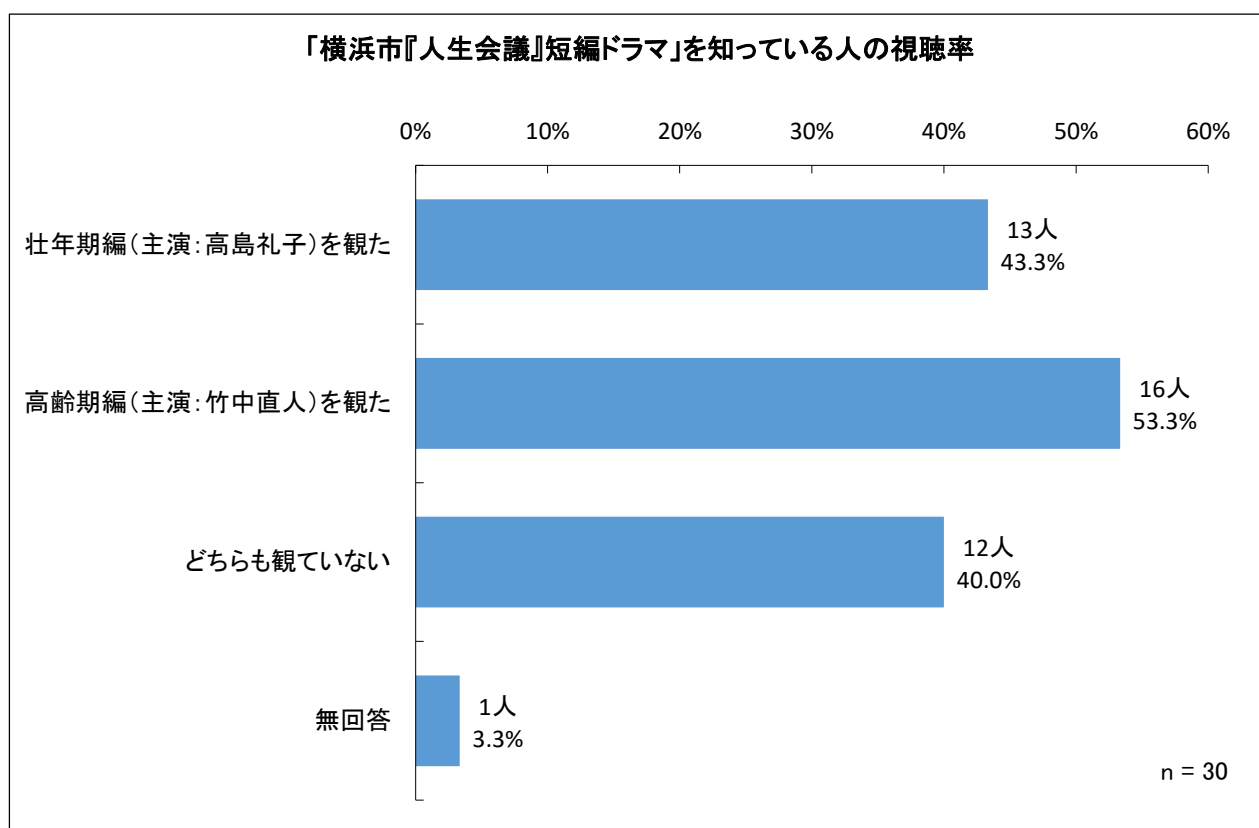
(2) 「横浜市『人生会議』短編ドラマ」の視聴率

「横浜市『人生会議』短編ドラマを知っている人のうち、実際に観た人は約6割。

ドラマを観た人の感想は「もしものときに望む医療やケアについて考えるきっかけとなった」(64.7%)が最も多い。

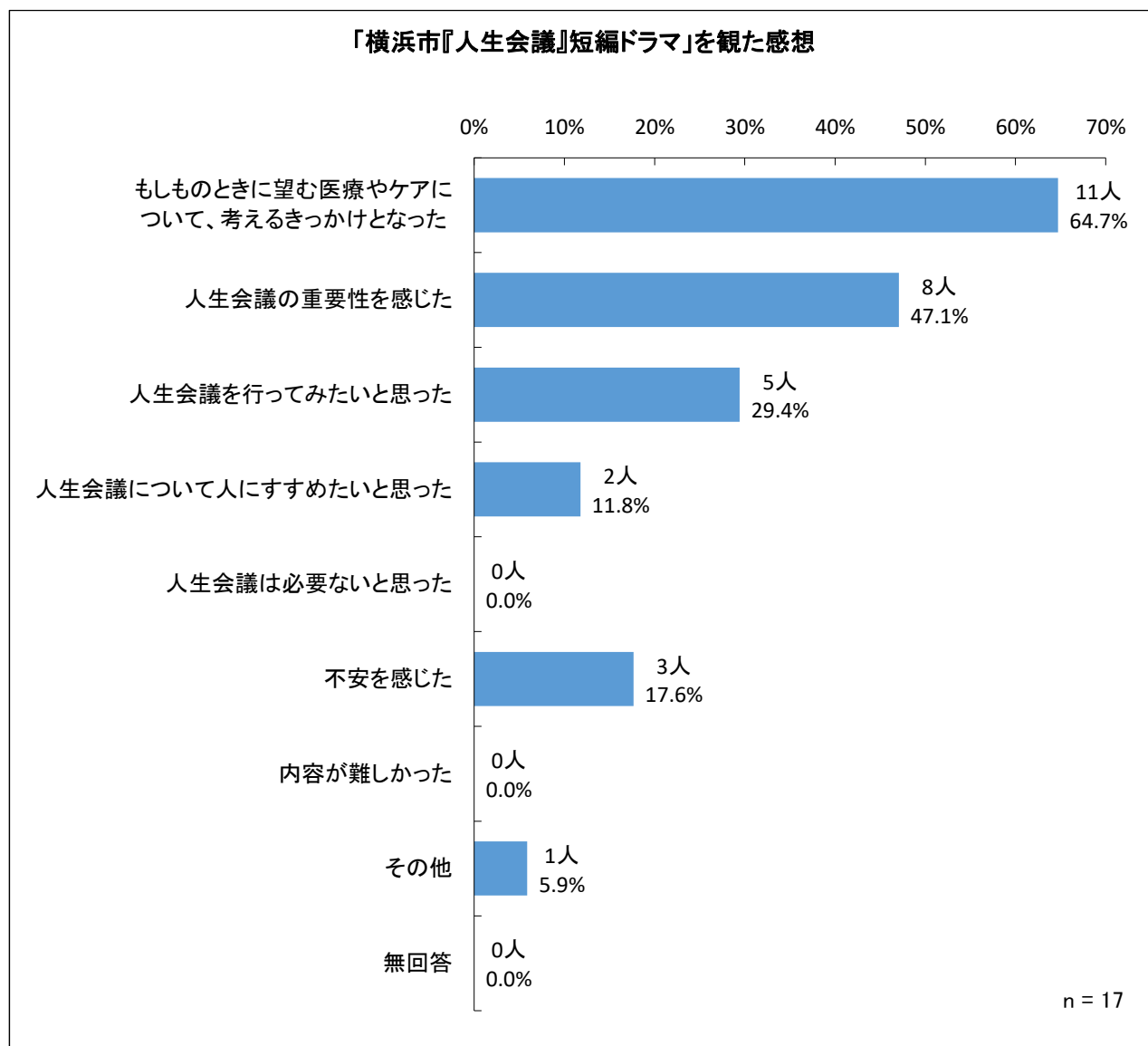
問6-(2) 「横浜市『人生会議』短編ドラマ」を観ましたか。(複数回答可)

- ・「横浜市『人生会議』短編ドラマ」を「知っている」と回答した人のうち、壮年期編または高齢期編のいずれかを観た人は約6割。
- ・「壮年期編(主演:高島礼子)を観た」が43.3%、「高齢期編(主演:竹中直人)を観た」が53.3%であった。
- ・回答者全体(n=1,198)の視聴率は1.4%



問 6-(3) ドラマを観た感想はどうでしたか。(複数回答可)

- ・「横浜市『人生会議』短編ドラマ」を観たと回答した人に感想を聞いたところ、「もしものときに望む医療やケアについて考えるきっかけとなった」(64.7%) が最も多く、次いで「人生会議の重要性を感じた」(47.1%)、「人生会議を行ってみたいと思った」(29.4%) の順である。
- ・一方で「不安を感じた」が17.6%であった。



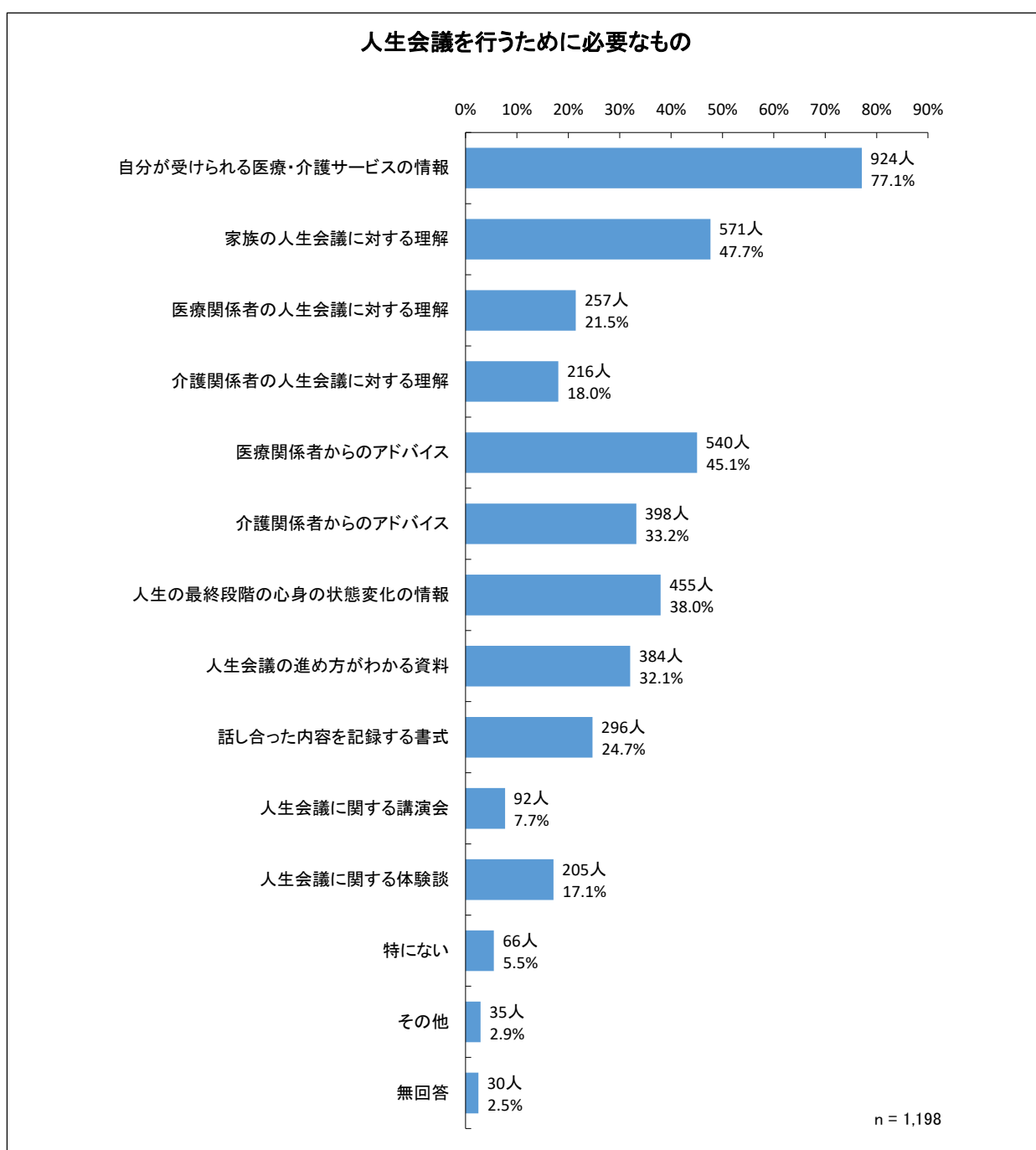
4. その他

(1) 人生会議を行うために必要なもの

人生会議を行うために必要だと思うものは、「自分が受けられる医療・介護サービスの情報」(77.1%)が最も多い。

問7 人生会議を行うにあたって、必要だと思うものは何ですか。(複数回答可)

- ・人生会議を行うにあたって必要だと思うものは、「自分が受けられる医療・介護サービスの情報」(77.1%)が最も多く、次いで「家族の人生会議に対する理解」(47.7%)、「医療関係者からのアドバイス」(45.1%)の順である。
- ・その他として「日頃から話し合える家族の関係性」等の意見が挙げられている。

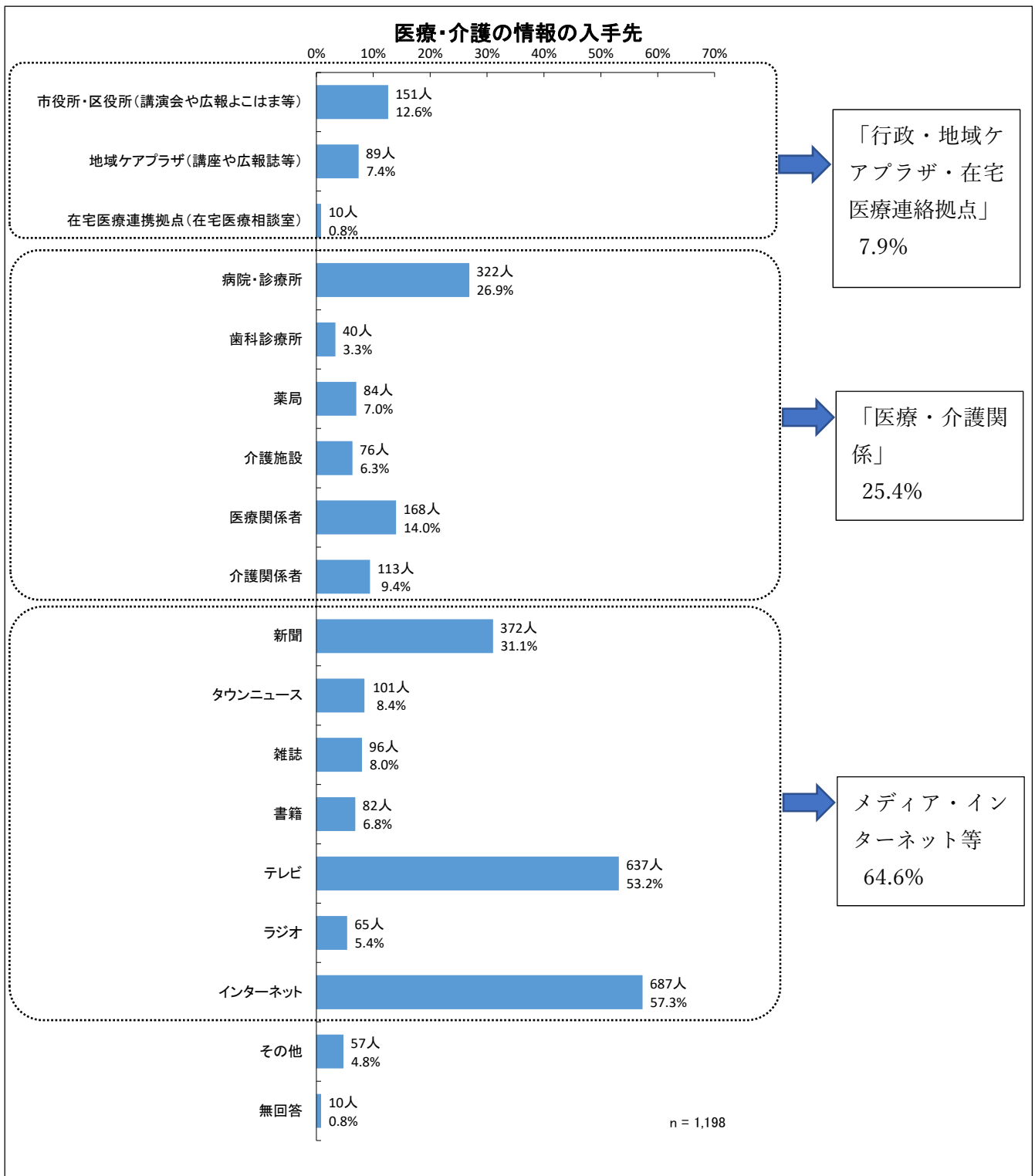


(2) 医療・介護の情報の入手先

インターネット (57.3%) が最も多い。

問8 日頃、医療・介護について、どこから情報を得ていますか。(複数回答可)

- ・医療・介護についての情報を入手先は、「インターネット」(57.3%) が最も多く、次いで「テレビ」(53.2%)、「病院・診療所」(26.9%) の順である。
- ・その他として「家族」「友人・知人」「職場」等の意見が挙げられている。

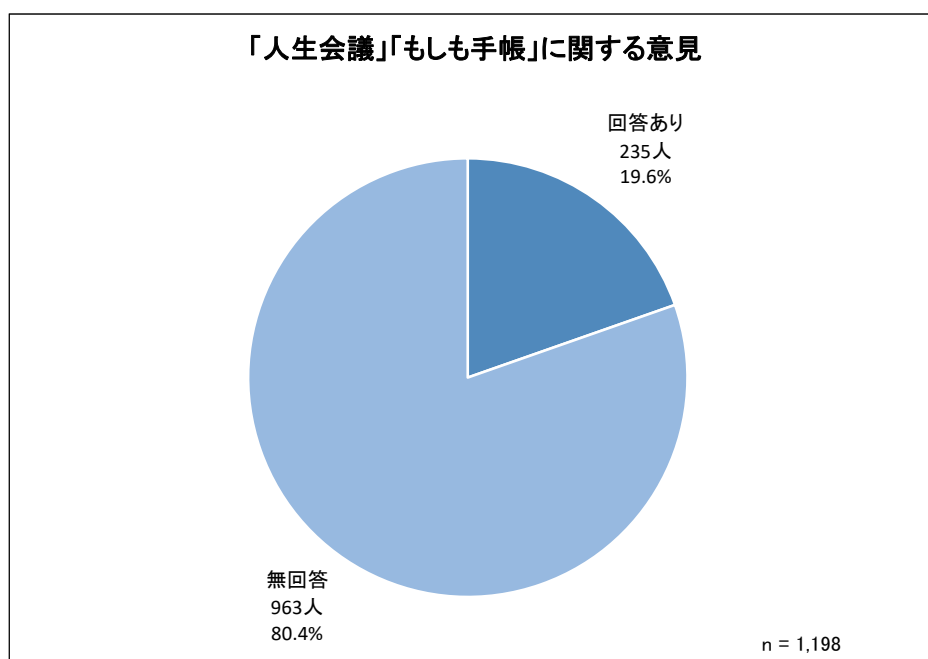


(3) 「人生会議」「もしも手帳」に関するご意見

人生会議やもしも手帳の必要性に肯定的な意見が多い。

問9 人生会議や「もしも手帳」について、ご意見がございましたらご記入ください。(自由回答)

- ・回答があったのは19.6%。
- ・回答内容は、人生会議やもしも手帳の必要性に肯定的な意見が最も多い。
- ・次いで「調査票が届くまで知らなかった」という意見が多く、「調査をきっかけに家族で話し合ってみようと思う」「もっと広く広報してほしい」等の意見が挙げられている。
- ・もしも手帳の内容等への意見として、「ネーミングがわかりにくい」「電子データで記録したい」等の意見が挙げられている。



回答内容の内訳

	内容	件数	%
1	調査票が届くまで知らなかった	49	20.9
	(再掲) (1)必要性に肯定的	20	
	(2)普及啓発等への意見	10	
2	必要性に肯定的 (1-(1)を除く)	65	27.7
3	普及啓発等への意見 (1-(2)を除く)	41	17.4
4	もしも手帳の内容等への意見	24	10.2
5	必要性への疑義等	30	12.8
6	その他	26	11.1

調査票

整理番号:



電子申請で回答される方は、整理番号を入力してください。
郵送との重複回答を避ける目的で使用し、個人は特定されません。

調査票

※ご回答内容により記載して頂く箇所が違います。「➡」の指示に従って
お答えください。

人生の最終段階の医療等に関する意識について

問1 人生会議という言葉聞いたことはありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. ある 次の質問➡ **問1-(1)**へ
2. ない 次の質問➡ **問2**へ

【用語解説】

○人生会議(アドバンス・ケア・プランニング 略称:ACP)

もしものとき(※)に、どのような医療やケアを望むのか、前もって考え、家族や信頼する人、医療・介護従事者たちと繰り返し話し合い、共有することです。

※もしものとき:回復の見込みのないけがや病気のため、死が避けられない状態となったとき

問1-(1) どこで聞きましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------------|-------------------------|
| 1. 広報よこはま | 2. 横浜市「人生会議」短編ドラマ |
| 3. 区役所の窓口・講演会・イベント等 | 4. 地域ケアプラザの窓口・講演会・イベント等 |
| 5. 在宅医療連携拠点(在宅医療相談室)の窓口・講演会等 | 6. 病院・診療所 |
| 7. 歯科診療所 | 8. 薬局 |
| 9. 介護施設 | 10. 医療関係者に聞いた |
| 11. 介護関係者に聞いた | 12. 家族・知人に聞いた |
| 13. 市役所のホームページ | 14. 電車広告 |
| 15. バス広告 | 16. Yahoo! 広告 |
| 17. タウンニュース | 18. テレビ |
| 19. ラジオ | 20. 新聞 |
| 21. その他() | |

【用語解説】

○在宅医療連携拠点(在宅医療相談室)

横浜市全区に設置しており、在宅医療や介護に関する相談支援や、在宅医療・介護に関わる多職種の連携体制の構築等を行っています。

○横浜市「人生会議」短編ドラマ

高島礼子さん主演の壮年期編と、竹中直人さん主演の高齢期編の2作品があります。「人生会議」や「もしも手帳」について理解を深めていただくことを目的に、横浜市が作成した短編ドラマです。

●次の質問➡ **問2**へ

問2 あなたは、もしものとき、どのような医療やケアを望むのか、これまでに考えたことがありますか。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. ある
2. ない

●次の質問➡ **問3**へ

問3 あなたは、もしものとき、どのような医療やケアを望むのか、ご家族等や医療・介護関係者と話し合ったことがありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 話し合っている 次の質問→ **問3-(1)、(2)、(3)**へ
2. 話し合ったことはない 次の質問→ **問3-(4)**へ

問3-(1) 話し合ったきっかけは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| 1. もしも手帳 | 2. 横浜市「人生会議」短編ドラマ |
| 3. 市や区の広報物や講座 | 4. 結婚、退職、還暦などライフステージの変化 |
| 5. 自分の病気、けが、事故 | 6. 家族・親族の病気、けが、事故、死 |
| 7. 家族・親族のアドバイスや一言 | 8. 友人・知人のアドバイスや一言 |
| 9. 医療関係者のアドバイスや一言 | 10. 介護関係者のアドバイスや一言 |
| 11. メディア(テレビ・新聞など) | 12. その他() |

【用語解説】

○もしも手帳

簡単な3つの質問に答えることで、もしものときに、どのような医療やケアを望んでいるかを前もって話し合い、あなたの思いを伝えるための手帳で、横浜市が作成しました。

●次の質問→ **問3-(2)**へ

問3-(2) どなたと話し合いましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------|----------|
| 1. 家族・親族 | 2. 友人・知人 |
| 3. 医療関係者 | 4. 介護関係者 |
| 5. その他() | |

●次の質問→ **問3-(3)**へ

問3-(3) 話し合ったことを紙に書くなど記録しましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. はい
2. いいえ

●次の質問→ **問4**へ

問3-(4) これまで話し合ったことがない理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 話し合うきっかけがなかったから | 2. 何を話し合っていないかわからないから |
| 3. 話し合う必要を感じていないから | 4. 話し合いたくないから |
| 5. 話し合う人がいないから | 6. その他() |

●次の質問→ **問4**へ

問4 「もしも手帳」を知っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 知っている 次の質問→ **問4-(1)**、**問5**へ
2. 知らない 次の質問→ **問6**へ
-

問4-(1) どこで知りましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------------|-------------------------|
| 1. 広報よこはま | 2. 横浜市「人生会議」短編ドラマ |
| 3. 区役所の窓口・講演会・イベント等 | 4. 地域ケアプラザの窓口・講演会・イベント等 |
| 5. 在宅医療連携拠点(在宅医療相談室)の窓口・講演会等 | 6. 病院・診療所 |
| 7. 歯科診療所 | 8. 薬局 |
| 9. 介護施設 | 10. 医療関係者に聞いた |
| 11. 介護関係者に聞いた | 12. 家族・知人に聞いた |
| 13. 市役所のホームページ | 14. 電車広告 |
| 15. バス広告 | 16. Yahoo! 広告 |
| 17. タウンニュース | 18. テレビ |
| 19. ラジオ | 20. 新聞 |
| 21. その他() | |

●次の質問→ **問5**へ

問5 「もしも手帳」を持っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 持っている 次の質問→ **問5-(1)**、**(2)**へ
2. 持っていない 次の質問→ **問5-(6)**へ
-

問5-(1) どこで入手しましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------------|-------------------------|
| 1. 区役所の窓口・講演会・イベント等 | 2. 地域ケアプラザの窓口・講演会・イベント等 |
| 3. 在宅医療連携拠点(在宅医療相談室)の窓口・講演会等 | 4. 病院・診療所 |
| 5. 歯科診療所 | 6. 薬局 |
| 7. 介護施設 | 8. 医療関係者からもらった |
| 9. 介護関係者からもらった | 10. 家族・知人からもらった |
| 11. その他() | |

●次の質問→ **問5-(2)**へ

問5-(2) 「もしも手帳」に記入しましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 記入した 次の質問→ **問5-(3)**、**(4)**へ
2. 記入していない 次の質問→ **問5-(5)**へ
-

問5-(3) 記入しやすさはどうでしたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 書きやすかった
2. ふつう
3. 書きにくかった(理由:)

●次の質問→ **問5-(4)**へ

問5-(4) 記入してみた感想はどうでしたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 考えておくべきことがわかって良かった
2. 人にすすめたいと思った
3. 不安になった
4. 必要ないと感じた
5. その他()

●次の質問→ **問6**へ

問5-(5) 記入していない理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 今は記入の必要がないと思った
2. 記入しようと思ったが書きにくくてやめた
3. 記入することに抵抗があった(理由:)
4. その他()

●次の質問→ **問6**へ

問5-(6) 「もしも手帳」を持っていない理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 入手方法がわからない
2. 配布場所が近くにない
3. エンディングノート等、他に利用しているものがある
4. 自分には必要だと思わない
5. その他()

●次の質問→ **問6**へ

問6 「横浜市『人生会議』短編ドラマ」を知っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 知っている 次の質問→ **問6-(1)、(2)**へ
2. 知らない 次の質問→ **問7**へ

問6-(1) どこで知りましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 広報よこはま
2. 名刺型サイズの PR カード
3. 区役所の窓口・講演会・イベント等
4. 地域ケアプラザの窓口・講演会・イベント等
5. 在宅医療連携拠点(在宅医療相談室)の窓口・講演会等
6. 新型コロナウイルスワクチン集団接種会場
7. 病院・診療所
8. 歯科診療所
9. 薬局
10. 介護施設
11. 医療関係者に聞いた
12. 介護関係者に聞いた
13. 家族・知人に聞いた
14. 市役所のホームページ
15. 電車広告
16. バス広告
17. Yahoo! 広告
18. タウンニュース
19. テレビ
20. ラジオ
21. 新聞
22. その他()

【用語解説】

○名刺型サイズの PR カード
「横浜市『人生会議』短編ドラマ」の紹介と QR コード
が掲載された名刺サイズのカード



●次の質問→ **問6-(2)**へ

問6-(2)「横浜市『人生会議』短編ドラマ」を観ましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 壮年期編(主演:高島礼子)を観た | 次の質問→ 問6-(3) へ |
| 2. 高齢期編(主演:竹中直人)を観た | 次の質問→ 問6-(3) へ |
| 3. どちらも観ていない | 次の質問→ 問7 へ |

問6-(3) ドラマを観た感想はどうでしたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. もしものときに望む医療やケアについて、考えるきっかけとなった
2. 人生会議の重要性を感じた
3. 人生会議を行ってみたいと思った
4. 人生会議について人にすすめたいと思った
5. 人生会議は必要ないと思った
6. 不安を感じた
7. 内容が難しかった
8. その他()

●次の質問→ **問7**へ

問7 人生会議を行うにあたって、必要だと思うものは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1. 自分が受けられる医療・介護サービスの情報 | 2. 家族の人生会議に対する理解 |
| 3. 医療関係者の人生会議に対する理解 | 4. 介護関係者の人生会議に対する理解 |
| 5. 医療関係者からのアドバイス | 6. 介護関係者からのアドバイス |
| 7. 人生の最終段階の心身の状態変化の情報 | 8. 人生会議の進め方がわかる資料 |
| 9. 話し合った内容を記録する書式 | 10. 人生会議に関する講演会 |
| 11. 人生会議に関する体験談 | 12. 特にない |
| 13. その他() | |

●次の質問→ **問8**へ

問8 日頃、医療・介護について、どこから情報を得ていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1. 新聞 | 2. タウンニュース |
| 3. 雑誌 | 4. 書籍 |
| 5. テレビ | 6. ラジオ |
| 7. インターネット | 8. 病院・診療所 |
| 9. 歯科診療所 | 10. 薬局 |
| 11. 介護施設 | 12. 市役所・区役所(講演会や広報よこはま等) |
| 13. 地域ケアプラザ(講座や広報誌等) | 14. 在宅医療連携拠点(在宅医療相談室) |
| 15. 医療関係者 | 16. 介護関係者 |
| 17. その他() | |

●次の質問→ **問9**へ

問9 人生会議や「もしも手帳」について、ご意見がございましたらご記入ください。(自由回答)

()

ご自身について

問10 あなたの年齢について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 1. 18～24 歳 | 2. 25～29 歳 | 3. 30～34 歳 | 4. 35～39 歳 |
| 5. 40～44 歳 | 6. 45～49 歳 | 7. 50～54 歳 | 8. 55～59 歳 |
| 9. 60～64 歳 | 10. 65～69 歳 | 11. 70～74 歳 | 12. 75～79 歳 |
| 13. 80～84 歳 | 14. 85 歳以上 | | |

問11 あなたの性別について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 男性 2. 女性 3. 回答しない

問12 あなたがお住まいの区について、あてはまるもの1つに○をつけてください

- | | | | | | |
|----------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 1. 鶴見区 | 2. 神奈川区 | 3. 西区 | 4. 中区 | 5. 南区 | 6. 港南区 |
| 7. 保土ヶ谷区 | 8. 旭区 | 9. 磯子区 | 10. 金沢区 | 11. 港北区 | 12. 緑区 |
| 13. 青葉区 | 14. 都筑区 | 15. 戸塚区 | 16. 栄区 | 17. 泉区 | 18. 瀬谷区 |

問13 同居人の有無について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. いる 次の質問→ **問13-(1)**へ 2. いない 次の質問→ **問14**へ

問13-(1) 同居人との関係について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 配偶者(パートナー) 2. 親 3. 子 4. 子の配偶者 5. 兄弟姉妹
6. 祖父母 7. 孫 8. その他の親族
9. その他()

問14 医療・介護関係の業務に従事している、または従事していましたか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. はい 2. いいえ

問15 家族や身近な人を介護した経験がありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. はい 2. いいえ

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒で6月30日(金)までにご投函ください。(切手は不要です)

ご協力ありがとうございました。